

DCT7-0400 / 0800 / 1600 / 3200



Ver2.0



Digital Cube Technology

デジタル キューブ テクノロジー(株)

FCC(連邦通信委員会)準拠表明

DCT7 - 0400 / 0800 / 1600 / 3200

この機器は、FCC(連邦通信委員会)規格第15部に準拠しています。操作には次に述べる以下の2つの伝導が必要となります。

- (1) この機器は、有害な妨害を引き起こさないかもしれません。
- (2) 望まない操作をもたらす妨害を含むどのような妨害でも受け取るに違いないでしょう。

■ 警告

本書の内容の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。このマニュアルで使用する図は、例示のためのもので、実際とは異なる場合があります。本製品の仕様及び外観は品質向上のため予告なく変更されることがあります。

■ 注意事項

製品を使用する前に、全ての注意事項を必ずお読みください。注意事項は、必ずお守りください。

● 使用する前に必要な事項

- 1 NVRまたは周辺装置の設置、移動、またはカバーを開くときに、感電事故を防止するために各種ケーブルを正しく接続してください。接地機能のある電源コンセントに電源線を接続します。
- 2 本製品を電源コンセントの近くに設置し、電源を抜きしやすい状態に保ってください。
- 3 水の中や湿気の多いところでNVRを使用しないでください。
- 4 NVRあるいはその他の周辺機器のビニール包装紙は、窒息などの危険性があるので、子供の手の届かない場所に保管してください。

● NVR設置環境

- 1 適温(5~40℃)/ 湿度(10%~80%)を維持してください。
- 2 外部振動のない安全な場所に設置してください。
- 3 風通しの良い清潔な場所に設置してください。
- 4 ハードディスクのデータ損失や故障防止のため、磁気類から離し設置してください。
- 5 標準ラックを使用しない場合は、別途設置棚を使用し、床から60cm、天井から50cm、側面、および背面の壁や物体から20cm以上、離してください。

● NVR安全上の注意

- 1 基盤とHDDの追加設置を行う場合は、電源コードを本体と分離して本体の電源を完全に遮断した後、作業をしてください。
- 2 製品はヒーターなどの機器から遠ざけてください。
- 3 破損した電源コードは使用しないでください。
- 4 製品に接続する全てのケーブルは、電磁波、サージに伴う問題を回避または最小限に防止することのできるケーブルとコンセントを使用してください。
- 5 電源コードが接続されているときは、電源装置に手を触れないでください。スイッチがオフになっている場合でも、電源コードが接続されていると、内部に電流が流れている状態になります。
- 6 本体の上に重い物を置かないでください。
- 7 換気口に導電性のものが落ちないように注意してください。
- 8 システムの配線のための十分なスペースを確保してください。
- 9 マニュアルの表記部品のみを使用し、むやみに分解、修理、改造などをしないでください。
- 10 システムの設定を誤って変更した場合、機能の低下をもたらすことができます。
- 11 マニュアルに示された方法でシステムを終了します。

● リチウム電池注意書き

- 1 リチウム電池の交換は大変危険です。正しい方法で交換してください。
- 2 使用したリチウム電池の廃棄には十分ご注意ください。

【注意事項は、次のように警告と注意に分類されます。】

 Warning	人がけがをしたり、製品の損傷が想定される内容です。
 Caution	製品の損傷や機能障害が想定される内容です。
	製品の使用に関する注意点をお知らせします。
	製品の使用に関する情報をお知らせします。

Table of Contents



Chapter 1. 概要	6
1-1 DCTシリーズの主な特長	6
1-2 構成品の確認	7
1-3 DCTシリーズ製品紹介	8
Chapter 2. インストールと接続	9
2-1 DCTシリーズ各部の名称と機能	9
2-1-1 DCTシリーズ カメラ4/8入力用 背面パネル	9
2-1-2 DCTシリーズ カメラ16入力用 背面パネル	10
2-1-3 DCTシリーズ カメラ32入力用 背面パネル	11
2-2 設置と接続	12
2-2-1 基本接続	12
2-3 その他の機器の接続	13
Chapter 3. 運用と設定ツール	15
3-1 DCTシリーズ前面パネルのボタン	15
3-2 マウス	17
3-3 ジョグシャトル	17
Chapter 4. NVR 動作設定	18
4-1 ハードディスクを設置	18
4-2 電源 オン	18
4-3 ストレージの設定	19
4-4 録画の設定	19
4-5 日付/時間 設定	19
4-6 画面表示の設定やその他の設定	19
4-7 外部デバイスの設定	20
4-8 検索	20
4-9 バックアップ	20
4-10 NVR 情報確認	20
Chapter 5. システム運用	21
5-1 ライブ監視モードとアイコン	21
5-2 システムへのログイン	22
5-2-1 ユーザーアカウントと権限の設定	22
5-2-2 ログイン	23
5-2-3 ログアウト	23
5-3 監視	23
5-3-1 分割画面や自動切替画面を表示	23
5-3-2 スポット	26
5-3-3 監視モードでのメニュー	26
5-3-4 ズーム 機能	27
5-3-5 PTZを利用した画面上のコントロール機能	27
5-4 NVR情報の確認と画面の設定の変更	29
5-4-1 NVR情報の確認	29
5-4-2 画面の表示設定	29
5-4-3 スクリーンセーバー	30
5-5 コントロール(音声出力、リレー出力、スポット出力)	30
5-6 検索	31
5-6-1 検索モードに入る	31
5-6-2 再生メニュー	31
5-7 検索(カレンダー)	32
5-7-1 検索モードに入る	32
5-7-2 年/月/日を選択	32

5-7-3 タイムインデックス.....	32
5-7-4 イベント.....	33
5-7-5 マルチチャンネル検索.....	33
5-7-6 マルチ時間検索.....	33
5-7-7 マルチ日検索.....	33
5-8 再生.....	34
5-8-1 再生と再生速度調整.....	34
5-8-2 スマート検索.....	36
5-8-3 検索(カレンダー).....	36
5-8-4 マルチ時間.....	36
5-8-5 マルチ日.....	37
5-8-6 マルチチャンネル.....	37
5-8-7 4コマ連続再生(パノラマ再生).....	37
5-8-8 イベント.....	37
5-8-9 バックアップ.....	37
5-8-10 画面モード.....	37
5-9 ログの確認.....	38
5-9-1 ログの種類.....	38
5-9-2 システムログ表示.....	39
5-10 録画.....	39
5-10-1 録画方式.....	39
5-10-2 録画設定.....	40
5-10-3 録画状態の確認.....	40
5-11 バックアップ.....	40
5-11-1 ライブ監視モードのバックアップ.....	40
5-11-2 検索モードでのバックアップ.....	40
5-11-3 ログモードでのバックアップ.....	40
5-11-4 再生モードでのバックアップ.....	41
5-11-5 バックアップ共通プロセス.....	41
5-12 設定データ保存.....	42
5-13 ログのバックアップ.....	42
5-14 スナップショット.....	43
Chapter 6. 設定.....	44
6-1 時間.....	44
6-1-1 時刻同期.....	44
6-1-2 日時.....	45
6-1-3 タイムゾーン.....	45
6-1-4 自動再起動.....	45
6-2 カメラ.....	46
6-2-1 カメラ.....	46
6-2-2 PTZ.....	46
6-2-3 イベント.....	46
6-2-4 リレー.....	47
6-3 IPカメラ.....	47
6-3-1 IPカメラ.....	47
6-3-2 IPカメラストリーム.....	47
6-3-3 IP検索プロトコル設定.....	48
6-3-4 IPカメラ情報.....	48
6-4 録画.....	48
6-4-1 スケジュール選択 (スケジュール1 ~ スケジュール4).....	48
6-4-2 イベント.....	48
6-4-3 録画.....	49
6-4-4 アラーム.....	49
6-4-5 保持時間.....	50
6-4-6 ログ.....	50
6-4-7 Push.....	50

6-5 スケジュール (Schedule)	50
6-5-1 スケジュール設定	50
6-6 ストレージ(ハードディスク)	51
6-6-1 最大録画日数	51
6-6-2 HDD の上書き	51
6-6-3 ローカルストレージの管理	51
6-7 ネットワーク	53
6-7-1 イーサネット1(クライアントポート)	53
6-7-2 イーサネット2(IPカメラポート)	54
6-7-3 DDNS	54
6-7-4 メール	55
6-7-5 帯域	55
6-7-6 コールバック	56
6-7-7 FTP	56
6-7-8 RTSP	56
6-8 システム設定	57
6-8-1 NVR 名	57
6-8-2 ユーザー設定	58
6-8-3 アップグレード	58
6-8-4 工場出荷時設定(初期化)	59
6-8-5 アラーム動作	59
6-8-6 アラーム保持時間	59
6-8-7 自動ログアウト	60
6-8-8 言語	60
6-8-9 ビデオロス検知時間	60
6-8-10 デュアル BNC 出力	60
クイックマニュアル	61
ログイン・システム終了・検索・再生・バックアップ	61

Chapter 1. 概要

1-1 DCTシリーズの主な特長



モデル名		DCT7-0400	DCT7-0800	DCT7-1600	DCT7-3200
システム	OS	Linux- フラッシュメモリ内蔵			
	操作	フロントボタン、マウス、ネットワーク、キーボードコントローラ			
	Hexaplex	ライブ監視、録画、再生、バックアップ、ネットワーク、設定			
	アップグレード	USB2.0 メモリ、ネットワーク			
カメラ	IP カメラ	ONVIF			
ビデオ	システム	NTSC / PAL - コンフィグスイッチ			
	映像入力 (IP)	4 IP-camera	8 IP-camera	16 IP-camera	32 IP-camera
	映像出力	1 HDMI, 1 VGA, 1 BNC			
	スポット	1 BNC (アナログ)			
音声	音声入力	ネットワークカメラの音声入力に対応 ※機種により対応が異なります。			
	音声出力	1 HDMI			
映像/録画	圧縮方式	H.264			
	録画速度	最大 30fps / 1 カメラ			最大 15fps / 1 カメラ
	解像度	最大 4K(3840×2160)			
	イベント	センサー、モーション			
	ビット伝送速度	最大 8Mbps / 1 カメラ			
ネットワーク	ネットワーク接続	ローカルネットワーク接続用 (10/100/1G) × 1, ネットワークカメラ接続用 (10/100/1G) × 1			
	圧縮伝送方式	H.264			
	転送速度	最大 1080P 15fps / 1 カメラ			
	解像度	最大 1920 × 1080p			
バックアップ	接続方式	USB2.0, ネットワーク			
	フォーマット	ビデオクリップ (バックアップ ビューアー), JPEG 静止画 ログ リスト, 設定 データ			
アラーム	プリ/Post-アラーム	5sec / 5sec~5min			
	アラーム アクション	E-メール, ポップアップ, ブザー, リレー, PTZ プリセット, スポット			E-メール, ポップアップ, ブザー, リレー, PTZ プリセット, スポット, リモート CMS, フロント LED
	入力/出力	4/1 - NC/NO			
ディスプレイ	HDMI	4K, フル HD, SXGA, XGA			
	VGA	フル HD, XGA			
	TV	SDTV(720x480)			
	モード	4/1/SEQ-ライブ, 4/1 - P.B	8/4/1/SEQ-ライブ, 8/4/1 - P.B	16/8/4/1/SEQ - ライブ, 16/8/4/1 - P.B	32/16/8/4/1/SEQ - ライブ, 32/16/8/4/1 -

				P.B
インタフェース	PTZ / キーボード	2 RS485 - ターミナルブロック		
ストレージ	内蔵デバイス	2 HDD または 1 HDD		6 HDD
	外部デバイス	1 e-SATA		4 e-SATA
特徴	DDNS, DHCP, UPNP	Yes		
	CMS, VMS, RMS	Windows		
	スマートフォン(3G)	アンドロイド, iPhone, iPad		
	Mac ビューアー	Apple Mac OS		
一般	アダプター	12V/5A - Level 6		90-250V, 50/60A
	消費電力	60Watts		80Watts
	サイズ	340 x 59 x 300 mm		440 x88 x430 mm

1-2 構成品の確認

下記の付属品が含まれているかどうかを確認してください。

キット内容

- CD(ソフト)
- マニュアル(本体取扱説明書、クイックマニュアル)

1-3 DCTシリーズ製品紹介

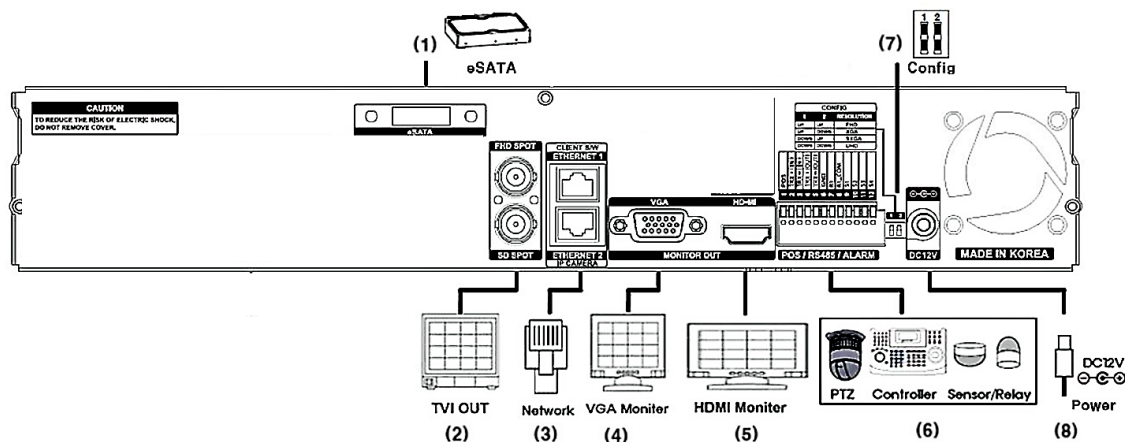


- 1080P/720P 1リアルタイム録画
- 32/16/8/4 Ch スポット出力
- ビデオ出力端子(HDMI、VGA、BNC)
- ビデオ出力方式(4K、フルHD、SXGA、XGA、SDTV)
- 1 HDDまたは2 HDD bay / 6 HDD bay
- 1チャンネルPOS/ATM 接続
- ブリアラーム録画
- 自動電子メール通知 最大5ユーザー
- プライバシーマスク
- 保護チャンネル
- デジタルシングル/マルチズーム
- スマート検索
- 複数の日付/時刻、イベント検索再生
- パノラマ再生
- フル HD 解像度 静止画キャプチャー
- PCを使用したファームウェアのアップグレード
- リモート設定、リレーコントロール
- スクリーンセーバー
- USBバックアップ
- ウェブ監視
- スマートフォンビューアー (アンドロイド、iOS)
- スマートフォンウェブビューアー (3G ビューアー)
- NTP、GMT、DST、タイムサーバー

Chapter 2. インストールと接続

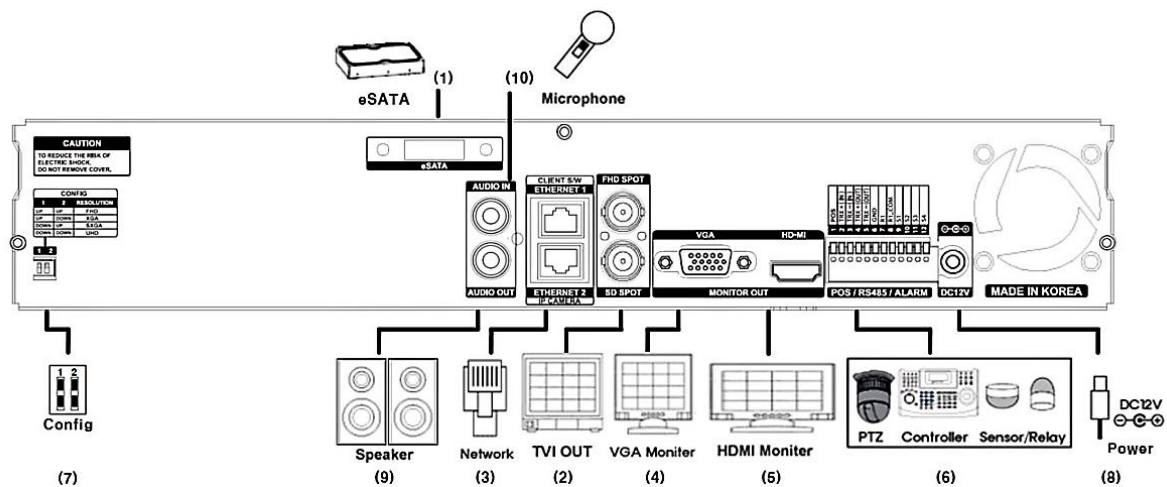
2-1 DCTシリーズ各部の名称と機能

2-1-1 DCT シリーズ カメラ4/8入力用 背面パネル



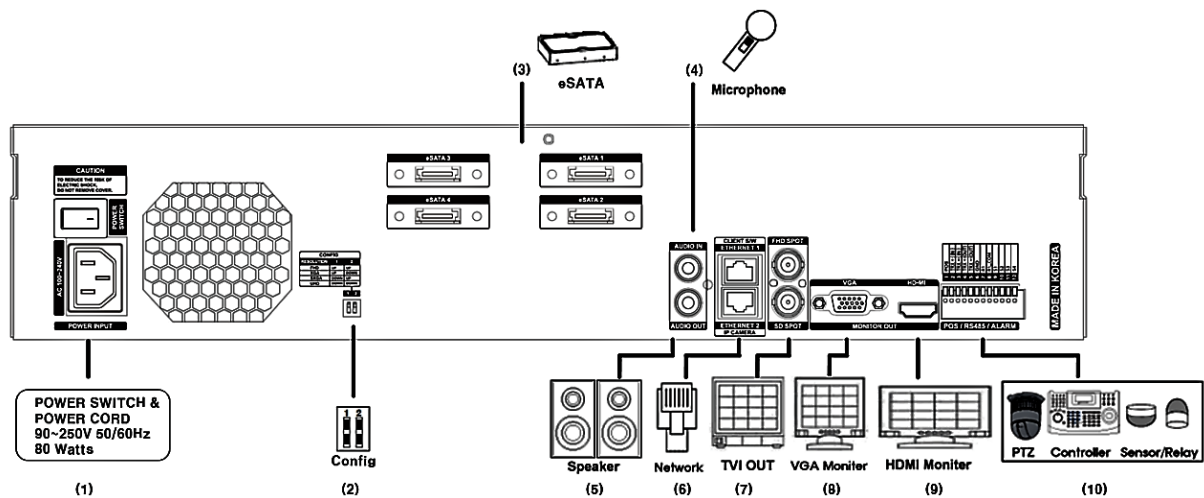
No.	Name	Feature	Type
1	e-SATA	External SATA	USB Type A, e-SATA
2	FHD スポット SD スポット	FHD スポット (TVIインターフェース) SD スポット (CVBSインターフェース)	BNC
3	イーサネット1 イーサネット2	ローカルネットワーク接続 (10/100/1G Base-T) ネットワークカメラ接続 (10/100/1G Base-T)	RJ-45
4	VGA出力	VGAモニターやLCDモニターの接続	D-SUB 15P
5	HDMI	HDMI出力	HDMI type-C
6	ターミナルブロック	RS-485/センサー入力/リレー出力/POS	ターミナルブロック
7	コンフィグ	UHD/FHD/XGA/SXGA	DIP S/W、2-pin
8	電源	12V/5A	DC Inlet
9	Ventilating Opening		電源 supply Fan

2-1-2 DCT シリーズ カメラ16入力用 背面パネル



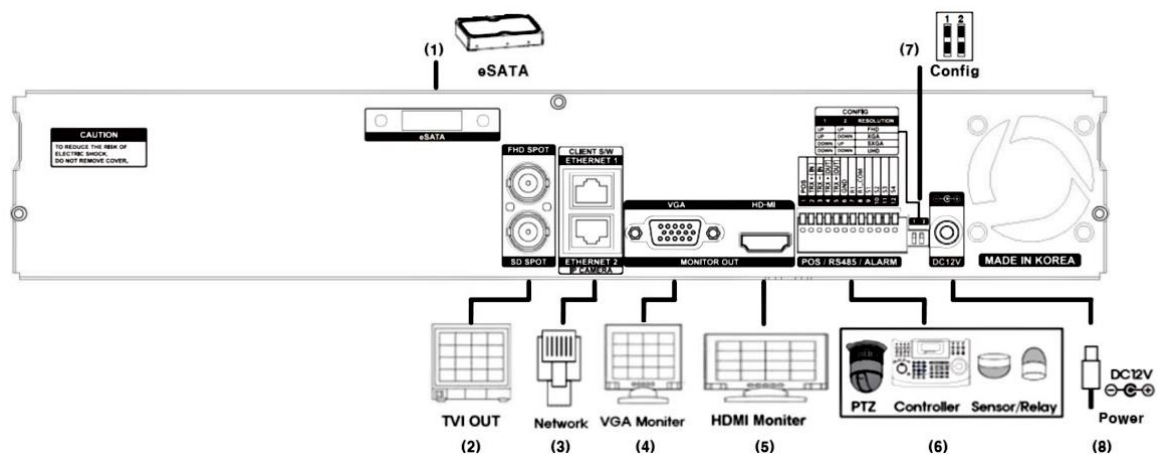
No.	Name	Feature	Type
1	e-SATA	External SATA	USB Type A, e-SATA
2	FHD スポット SD スポット	FHD スポット (TVIインタフェース) SD スポット (CVBSインタフェース)	BNC
3	イーサネット1 イーサネット2	ローカルネットワーク接続 (10/100/1G Base-T) ネットワークカメラ接続 (10/100/1G Base-T)	RJ-45
4	VGA出力	VGAモニターやLCDモニターの接続	D-SUB 15P
5	HDMI	HDMI出力	HDMI type-C
6	ターミナルブロック	RS-485/センサー入力/リレー出力/POS	ターミナルブロック
7	コンフィグ	UHD / FHD / XGA / SXGA	DIP S/W、2-pin
8	電源	12V5A	DC
9	音声 出力	音声出力 (ライン出力のみ)	RCA
10	音声 入力	音声入力	RCA
	Ventilating Opening		電源 supply Fan

2-1-3 DCT シリーズ カメラ32入力用 背面パネル

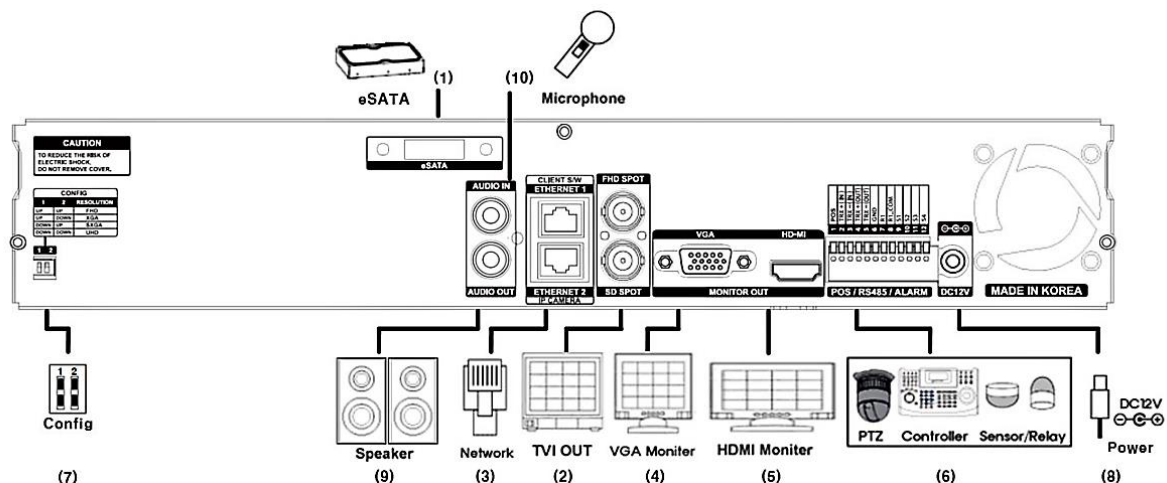


No.	Name	Feature	Type
1	電源	電源コードの接続	電源ソケット
2	コンフィグ	UHD / FHD / XGA / SXGA	DIP S/W、2-pin
3	e-SATA	External SATA	USB Type A, e-SATA
4	音声 入力	音声入力	RCA
5	音声 出力	音声出力(ライン出力のみ)	RCA
6	イーサネット1 イーサネット2	ローカルネットワーク接続(10/100/1G Base-T) ネットワークカメラ接続(10/100/1G Base-T)	RJ-45
7	FHD スポット SD スポット	FHD スポット(TVIインタフェース) SD スポット(CVBSインタフェース)	BNC
8	VGA出力	VGAモニターやLCDモニターの接続	D-SUB 15P
9	HDMI	HDMI出力	HDMI type-C
10	ターミナルブロック	RS-485/センサー入力/リレー出力/POS	ターミナルブロック
	Ventilating Opening		電源 supply Fan

2-2 設置と接続



[DCTシリーズ カメラ4/8入力用 基本的な接続と機器の接続]



[DCTシリーズ カメラ16入力用 基本的な接続と機器の接続]

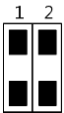
2-2-1 基本接続

※ [図 2-3] を参考に以下のように接続します。

	接続デバイス	NVR 端子
1	e-SATA	外付けストレージ
2	FHD スポット SD スポット	背面パネル FHD/SDスポット
3	イーサネット1 イーサネット2	背面パネル ローカルネットワーク接続 背面パネル ネットワークカメラ接続
4	VGAモニター/LCDモニター	背面パネル VGA出力
5	HDMIモニター	背面パネル HDMI
6	ターミナルブロック	RS-485、センサー、リレー出力、POS
7	コンフィグスイッチ 設定	背面パネル 左側の2つのスイッチ（下のコンフィグ スイッチの設定を参照
8	電源	AC12V

9	音声 出力(16CH)	背面パネル 音声出力端子
10	音声 入力(16CH)	背面パネル 音声入力端子

■ コンフィグ スイッチ 設定

	スイッチ 1	スイッチ 2	解像度
	UP	UP	FHD
	UP	DOWN	XGA
	DOWN	UP	SXGA
	DOWN	DOWN	UHD

2-3 その他の機器の接続

2-3-1 スポットモニター

スポットモニターを背面パネルのスポット端子に接続します。

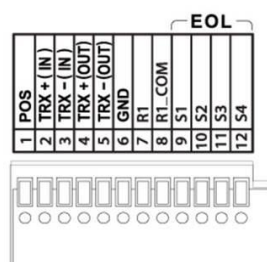
DCTシリーズのスポット端子は1出力のみです。

2-3-2 音声 入/出力

DCT7-400, DCT7-800, DCT7-1600, DCT7-3200はネットワークカメラの音声入力に対応しております。

※機種により対応が異なります。

2-3-3 ターミナルブロック



[ターミナルブロックと説明]

装置の背面パネルにある端子台は、PTZ/センサー/リレー/POSなどを接続するための端子です。モデルによってサポートされているPTZ/センサー/リレー/POSの入力数は異なります。

① PTZカメラ/キーボードコントローラ

PTZカメラは、PTZカメラの制御ケーブルをTRX+(OUT)とTRX-(OUT)に接続してください。キーボードコントローラはTRX+(IN)とTRX-(IN)に接続してください。

② センサー / リレー / POS

モデル別の方法に従いセンサー/リレー/ POSを端子に接続します。



センサーとリレータイプ

NC(Normal Close): 通常クローズ状態、検知時、オープン状態になる。

NO(Normal Open): 通常オープン状態、検知時、クローズ状態になる。

(1) センサーの接続

- ③ センサーは、各センサー毎にターミナルブロックのS1～S4とGND、S1～S16とGNDに接続します。
- ④ それぞれの入力端子は、チャンネル番号に関係なく、接続することができます。

(2) リレー接続

- ⑤ リレー出力を接続すると警告灯、サイレンなどの外部アラームデバイスが作動します。
- ⑥ ターミナルブロックのR1～R4とCOMに接続します。



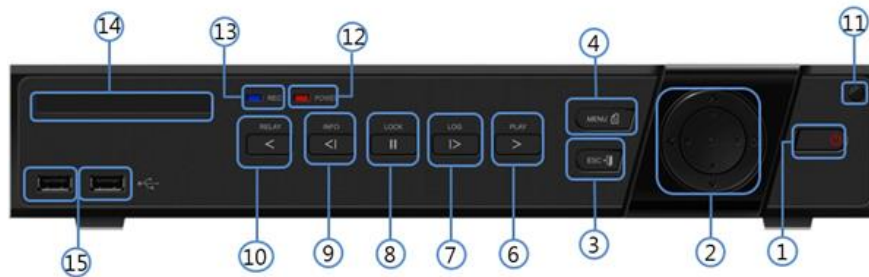
Caution

外部アラーム機器は、機器によって電源供給が必要な場合があります。
ご注意ください。

Chapter 3. 運用と設定ツール

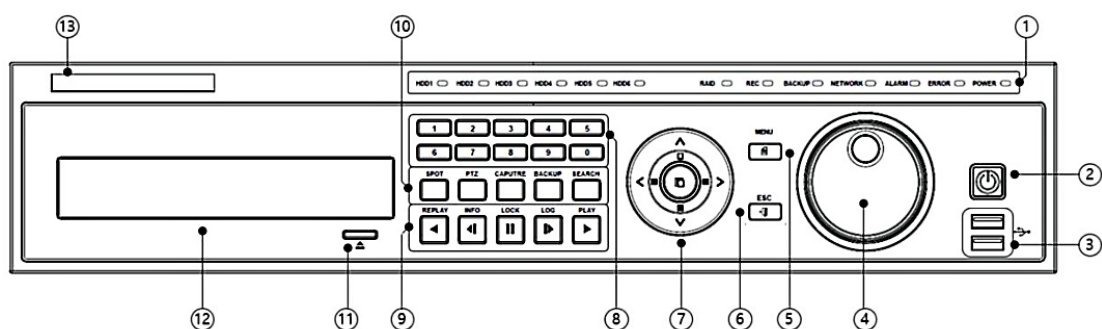
DCTシリーズは、前面パネルボタン、フロントパネル、マウスを使用して、システムを操作します。

3-1 DCTシリーズ前面パネルのボタン



[DCTシリーズ カメラ4/8/16入力用 前面パネルのボタン]

番号	名称	機能
1	電源	システムの電源 オン/オフ
2	移動 & ディスプレイ	メニューの移動や表示モードの変換
3	ESC	現在のメニュー抜け出す/上位メニューへ移動
4	メニュー	各種モード
6	PLAY	再生/早送り(再生モード時)
7	コマ送り	フレームずつ前に再生する(再生モード時)
8	一時停止	再生中停止(再生モード時)
9	逆コマ送り	フレームずつ逆再生(再生モード時)
10	逆再生	逆再生/巻き戻し(再生モード時)
11	IRセンサー	使用できません
12	電源LED	電源のオン/オフを示すLED
13	録画LED	ハードディスク作動時は緑色が点灯
14	ラベル	ブランド名とモデル名を表示
15	USB	USBメモリ、マウスなどの接続ポート



[DCTシリーズ カメラ32入力用 前面パネルのボタン]

番号	名称	機能
1	LED ディスプレイ	ハードディスク、電源及びステータスを示すLED
2	電源	システムの電源 オン/オフ
3	USB	USBメモリ、マウスなどの接続ポート
4	ジョグシャトル	再生モード/再生方向/フレーム再生速度
5	メニュー	各種モード
6	ESC	現在のメニュー抜け出す/上位メニューへ移動
7	移動 & ディスプレイ	メニューの移動や表示モードの変換
8	チャンネル番号	チャンネルの選択
9	PLAY	再生/早送り(再生モード時)
	コマ送り	フレームずつ前に再生する(再生モード時)
	一時停止	再生中停止(再生モード時)
	逆コマ送り	フレームずつ逆再生(再生モード時)
	逆再生	逆再生/巻き戻し(再生モード時)
10	検索	記録された画像を検索する
	バックアップ	記録された画像を他のメディアに保存
	キャプチャー	表示されている画像をUSBに取り込む
	PTZ	PTZコントロール
	スポット	スポットコントロール
11	イジェクト	CD/DVDなどのディスクを取り出す
12	ODD	CD-RW/DVD-RWなどのディスクを読み込む
13	ラベル	ブランド名とモデル名を表示

3-2 マウス

フロントパネルのUSB端子にマウスを接続すると、以下の図のようにカーソルが出力画面に表示されます。

	フロントパネルのUSB端子にマウスを接続すると、カーソルが表示されます。	
	右ボタンをクリック	監視モード/再生モードで監視メニュー/再生メニューを 表示あるいは非表示にします。特定のメニューウィンドウのサブフォルダを表示します。
	左ボタンをクリック	メニューを選択します。
	左ボタンをダブルクリック	メニューを選択します。
	左ボタンをドラッグ	特定のメニューウィンドウを移動します。

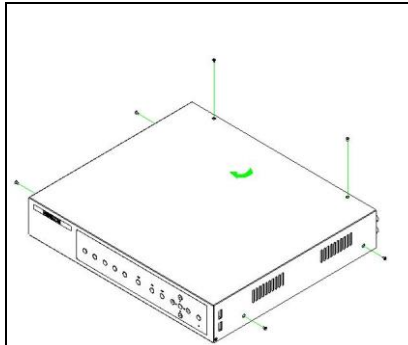
3-3 ジョグシャトル

再生モードで利用することができ、様々な場面でコントロールすることが可能です。(DCT7-3200モデル)

正面		横	
速度と方向のコントロール			
			
フレームコントロール			
	※フレームコントロール 再生モードで利用することができます。 フレームごとに映像が再生でき、ジョグを右/左に回すとその映像の前後の映像を再生することができます。		
	※速度と方向のコントロール 再生モードで利用することができます。 ジョグを右/左に回すと×1/×2/×4/×30で早送り/巻き戻して再生することができます。		

Chapter 4. NVR 動作設定

4-1 ハードディスクを設置

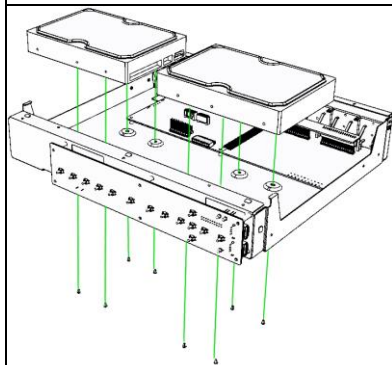


※ 第1ステップ

1) ドライバーを使用して、製品ケースのネジを緩めて、製品上部のケースを開きます。



1) HDDを設置するときは、必ずDVRを正常に終了させ、電源コードを抜いた状態で作業してください。
2) HDDをインストールした後、上部のケースを閉じる前に電源を接続しないでください。上部のケースが開いた状態でDVRを使用しないでください。



※ 第2ステップ

2) ドライバーを使用して、上部のハードディスクベイを固定しているネジを緩めて上部のハードディスクベイを本体と分離します。
3) ドライバーを使用して、下のハードディスクベイを固定しているネジを外して、下のハードディスクベイを本体と分離します。

4-2 電源 オン

- ① アダプター (DC 12V/5A)を確認し、電源端子を接続します。
- ② 背面の電源ケーブルを接続すると、起動します。
- ③ 起動が完了すると、ライブ画面とチャンネル/時計が表示され、マウスの右ボタン、またはフロントパネルの「メニュー」ボタンを押すと、メニューウィンドウが表示されます。



[メニュー]

最初の機器の設置時の初期ID/パスワードの組み合わせは以下の通りです。



[admin : 00000] [User1 : 1111111] [User2 : 2222222]
[User3 : 3333333] [User4 : 4444444]

※パスワードの変更は、「メニュー」⇒「設定」⇒「システム」⇒「管理者パスワード」で行います。

4-3 ストレージの設定

- ①「メニュー」⇒「設定」⇒「ストレージ」を選択し、ハードディスクを設定します。



HDDや外部ストレージに関連する詳細な内容は[6-5ストレージ]を確認してください。

4-4 録画の設定

- ①「メニュー」⇒「設定」⇒「録画」⇒「録画」を選択します。



- ② [録画解像度]/[通常記録レート]/[イベント記録レート]/[音声記録]の設定をすることができます。



初期の録画設定は、[録画解像度: 1st Stream (1920 × 1080、4096kbps、15fps)] に設定されています。この設定は、カメラが接続されているチャンネルの映像を、基本的に録画します。その他の詳細については、[6-4録画]をご参照ください。

4-5 日付/時間 設定

- ①「メニュー」⇒「設定」⇒「時間」を選択します。
② [時間同期]/[日時]/[タイムゾーン]などを設定します。

4-6 画面表示の設定やその他の設定

- ①「メニュー」⇒「その他」⇒「ディスプレイ設定」を選択し、関連する部分を設定します。

4-7 外部デバイスの設定

- ① 外部デバイスに関連する部分を設定します。詳細については、[2-3その他の機器の接続]、[第5章システム運用]、[6-2 カメラ]、[6-7ネットワーク]、[6-8システム設定]をご参照ください。

4-8 検索

- ① 詳しくは、[5-6検索]、[5-7検索(カレンダー)]、[5-8再生]、[5-10録画]をご参照ください。

4-9 バックアップ

- ① バックアップは、ライブ監視、検索、ログ、再生モードで行うことができます。
- ② 詳しくは、[5-11バックアップ]をご参照ください。

4-10 NVR 情報確認

- ① 「メニュー」⇒「その他」⇒「NVR Info.」を選択し、NVR情報を確認してください。



詳しい機能の説明は以下のマニュアルを参照してください。

Chapter 5. システム運用

5-1 ライブ監視モードとアイコン

システムの起動が完了すると、下の図のように音声/録画状態/チャンネルタイトル/画面接続状態表示/時間/HDDのステータスが表示されます。

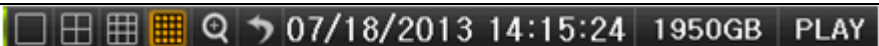


【録画状態】

※録画イベント/録画モード表示※		
録画イベント		モーション録画中の状態です。
		センサー録画中の状態です。
		音声録画中の状態です。
録画モード		ビデオ録画中の状態です。
		音声録画中の状態です。

※ 録画が停止しても、イベント関連の情報は引き続き確認することができます。実際の録画されている状況の表示は、録画モード表示で確認することができます。

※ ライブ画面表示※	
	ビデオ画面が接続されていない状態、または非表示になっています。
	音声を設定された状態です。
	音声が無音状態です。
信号がナシ	接続されているカメラの接続が切断された状態です。

※ コントロールバー ※	
	
①	1チャンネル画面表示
②	4チャンネルの画面表示
③	9チャンネルの画面表示
④	16チャンネルの画面表示
⑤	ズーム 機能
⑥	自動切替モード機能
⑦	日付/ 時間
⑧	HDD 状態
⑨	再生

5-2 システムへのログイン

5-2-1 ユーザーアカウントと権限の設定

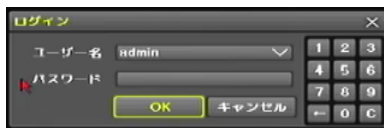
システムを運用するユーザーは、ローカルのシステム管理者 (Local Admin) と一般ユーザー (User) に分けられ、ローカルシステム管理者は、基本的に全ての機能を利用することができます。

Local Admin	システムの電源オン/オフ、設定、モニタリング、および再生など全ての機能へのアクセス許可が与えられます。(リモートで接続することができません。)
User	最大15人までユーザー設定ができ、各ユーザーにはアクセス権の設定ができ、設定されたシステム機能へのアクセス許可が与えられます。アクセス許可の設定は「メニュー」⇒「設定」⇒「システム」⇒「ユーザー登録」で行います。

※ 権限の設定が可能なシステム機能※	
ネットワークライブ	ネットワーク接続しライブ画面の表示
再生	録画された画面を表示
コピーを読み込み	コピー、およびネットワーク接続ビデオダウンロード
PTZ制御	PTZカメラの制御
設定	録画、スケジュール、システム、ストレージ、時間、PTZ、ネットワーク設定、映像画面の調整
リモートアップグレード	ネットワーク接続からのアップグレード
カメラ表示	カメラ表示

5-2-2 ログイン

ログインし、監視メニューを使用します。



[ログイン入力]

- ① ライブ監視画面で「メニュー」⇒「ログイン」からユーザーを選択します。
- ② ログイン入力画面が表示されたら、パスワードを入力し、OKもしくはキャンセルを選択してください。

5-2-3 ログアウト

ログアウトすると、「メニュー」機能を使用することができなくなります。

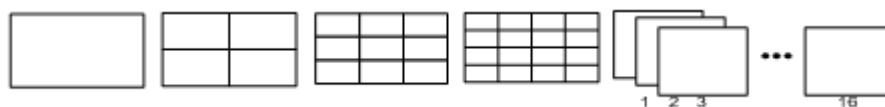
5-3 監視

DCTシリーズは下記の監視機能をサポートします。

- 1 / 4 / 9 / 16分割モードと自動切替
- 1 / 4 / 9 / 16マルチスポット
- PTZをするための画面上のコントロール機能
- チャンネルグループを設定
- TV モード
- 監視モードでのメニューコントロール
- ズーム機能
- ライブイベント表示機能

5-3-1 分割画面や自動切替画面を表示

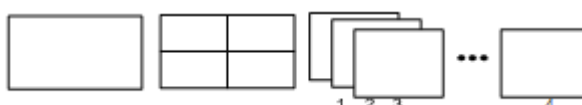
システムの起動完了後、デフォルト設定の場合、モデルごとに[32分割/16分割/9分割/4分割モード]の映像が画面に表示され、デフォルトの設定ではない場合、起動前にユーザーが設定していた分割モードで映像が画面に表示されます。



[16分割モード]

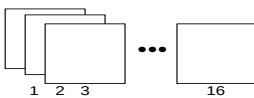


[9分割モード]



[4分割モード]

※ 1/4/9/16分割基本モードの環境では、モードボタンを押し続けると、下の図のように画面が切り替わります。

1チャンネル分割モード (16 グループ)																			
4チャンネル分割モード (4 グループ)	<table><tr><td>1</td><td>2</td><td>5</td><td>6</td><td>9</td><td>10</td><td>13</td><td>14</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td><td>7</td><td>8</td><td>11</td><td>12</td><td>15</td><td>16</td></tr></table>	1	2	5	6	9	10	13	14	3	4	7	8	11	12	15	16		
1	2	5	6	9	10	13	14												
3	4	7	8	11	12	15	16												
9チャンネル分割モード (2 グループ)	<table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr></table>	1	2	3	8	9	10	4	5	6	11	12	13	7	8	9	14	15	16
1	2	3	8	9	10														
4	5	6	11	12	13														
7	8	9	14	15	16														
16チャンネル分割モード (1 グループ)	<table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr><tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr></table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16		
1	2	3	4																
5	6	7	8																
9	10	11	12																
13	14	15	16																

※ 1/4/9/16分割モードでチャンネルの映像の上にマウスのポインタを移動し、左ボタンを2回連続して押すと、その映像の1分割モードにすることができます。1分割モードで映像の上にカーソルを移動し、左ボタンを2回連続して押すと、元の分割モードに戻ります。

※ 自動切替 (Auto Sequence)

この機能は、デフォルトのモード1/4/9それぞれの分割モードで映像を一定間隔で順次表示切替する機能です。基本モード16チャンネルモードでは、この機能を使用することができません。

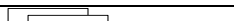
- ① 「メニュー」⇒「その他」⇒「ディスプレイ設定」⇒「スポットシーケンス」/「モニターシーケンス」で映像が変わる映像持続時間の選択(1～10秒)



フロント[SELECT]ボタン/マウスの矢印アイコンボタンを押すと、自動切替モードが始まります。



- ② デフォルトのモード1/4/9分割モードでは、自動的に順次切り替わります。

 1 2 3 ... 16	<table><tr><td>1</td><td>2</td><td>5</td><td>6</td><td>9</td><td>10</td><td>13</td><td>14</td></tr><tr><td>3</td><td>4</td><td>7</td><td>8</td><td>11</td><td>12</td><td>15</td><td>16</td></tr></table>	1	2	5	6	9	10	13	14	3	4	7	8	11	12	15	16	<table><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr><tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr></table>	1	2	3	8	9	10	4	5	6	11	12	13	7	8	9	14	15	16
1	2	5	6	9	10	13	14																													
3	4	7	8	11	12	15	16																													
1	2	3	8	9	10																															
4	5	6	11	12	13																															
7	8	9	14	15	16																															
1画面モードの順序	4分割モードの順序	9分割モードの順序																																		

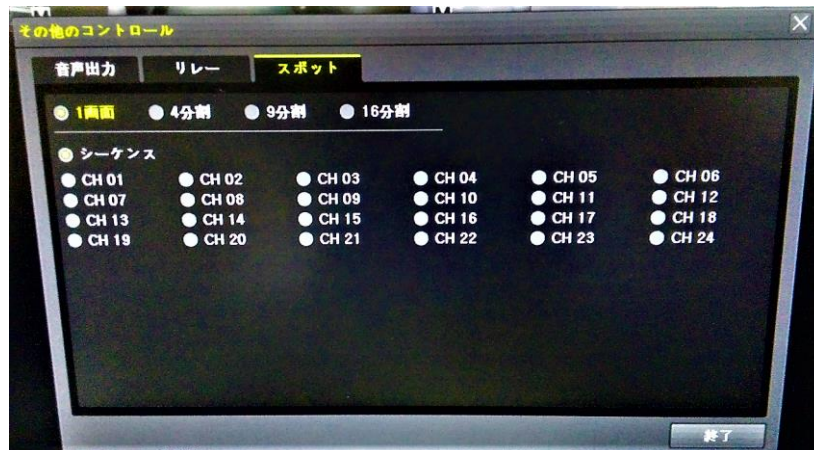
(ただし、カメラ1台のみ接続されている場合は、設定不可)

5-3-2 スポット

スポット機能は、特定の機能として設定されたチャンネルの映像を監視モニターとは別のモニターに表示する機能です。優先順位は、マニュアルスポット>イベントスポット>シーケンススポット順です。

① マニュアルスポット

ユーザーがスポットに設定したチャンネルをランダムに選択してスポット出力で表示する機能です。



【スポット】

「メニュー」⇒「その他」⇒「その他のコントロール」⇒「スポット」を選択して1画面モード、分割モードでは、自動切替モード、チャンネルを選択します。

② イベントスポット

イベントを設定したチャンネルでのイベント(センサー、動き、音声)が検知された場合、そのチャンネルの映像をすばやく表示するための機能です。イベントのチェック周期は1秒であり、もし複数のチャンネルでイベントが検知された場合、最後に検知されたイベントが設定されたチャンネルの映像が出力されます。「メニュー」⇒「その他」⇒「その他のコントロール」⇒「スポット」⇒「シーケンス」を選択します。

③ 自動切替スポット

ユーザーがマニュアルスポットで選択した複数のチャンネルの映像をスポット出力で連続的に表示する機能です。「メニュー」⇒「その他」⇒「その他のコントロール」⇒「スポット」⇒「シーケンス」を選択します。

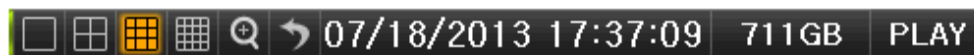
5-3-3 監視モードでのメニュー

ライブ監視モードで運用することができる全ての機能を「メニュー」で制御することができます。

- ① メニューボタンまたは、マウスの右ボタンを押すと、「メニュー」が表示されます。
- ② 方向ボタンまたはマウスを使用して、設定する項目を選択してください。
- ③ ESCボタンまたはマウスの右ボタンをもう一度押すとメニューが消えます。

5-3-4 ズーム 機能

ズーム機能は、ライブ監視モードで、特定のチャンネルを1分割表示モードに変換し、映像を拡大/縮小するための機能です。



- ① ズーム機能は「メニュー」⇒「ズーム」またはライブ監視モードのコントロールバーの四角で表示されたアイコンをクリックすると移動します。
- ② チャンネルを選択すると、1チャンネル画面表示モードに切り替わり、右下のコントロール用映像が表示されます。



【コントロール画面】

- ③ マウスの場合、ポインタを右下のコントロール映像に移動し、拡大したい画像の部分にポインタを移動し、左ボタンをダブルクリックします。
- ④ 1倍、4倍、16倍の3段階のモードに移動することができます。マウスのホイールでも回転させて切り替えることができます。また、4倍以上のモードでは、黄色のボックスをマウスの左ボタンでクリックしてドラッグすると、拡大した映像が移動します。
- ⑤ 前面パネルの前面パッドの「SELECT」 ボタンを使用して、通常、4倍、16倍の3段階のモードに切り替わります。黄色のボックスは、上/下/左/右ボタンを使用して移動します。

5-3-5 PTZ を利用した画面上のコントロール機能

接続したPTZカメラを使用して、ライブの監視を行う機能です。PTZカメラがシステムに接続されている必要があります。外部的な接続は、[2-3その他の機器の接続]⇒[3]ターミナルブロック]を参照してください。「メニュー」⇒「設定」⇒「カメラ」⇒「PTZ」を選択します。

- ① プロトコル/カメラID/ボーレート/停止時間/ツアーを設定します。

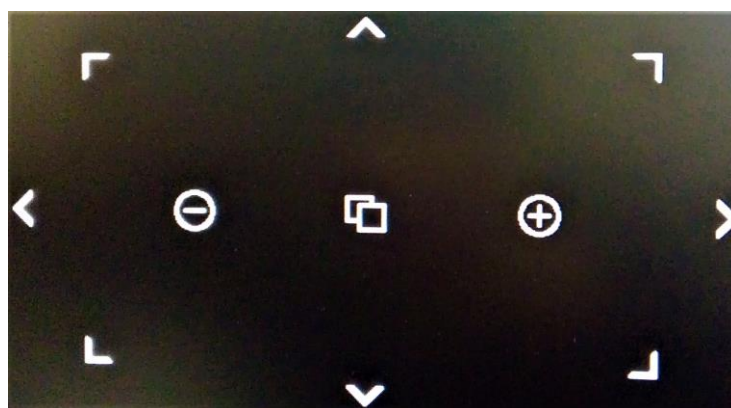


【PTZ設定】

- ※ ボーレートは2400/4800/9600/19200/38400をサポートします。
- ※ 停止時間は5秒/10秒/15秒/20秒/5-60(ユーザー設定)をサポートします。
- ※ ツアーはツアー1/ツアー2の2種類をサポートしており、それぞれ、8種類のプリセットを設定できます。
- ※ PTZは、サポートしているIPカメラのプロトコルを自動的に設定します。
- ※ OTCをサポートしているカメラの場合は、COAX_OSDを選択します。サポートしていないカメラの場合は設定しても制御できません。
- ② PTZカメラを制御するには、メニューの「PTZ制御」を選択します。



[PTZ 制御]



[PTZ制御メニューの最小化/最大化]



PTZモードでは、最小化と最大化の2つの機能を利用することができます。速度調整、ツアーの項目[ツアー1]と[ツアー2]を選択することができます。プリセットは1-8まで設定することができます。ホームポジション復帰時間は1分/5分/10分/ユーザー設定(1~60)をすることができます。



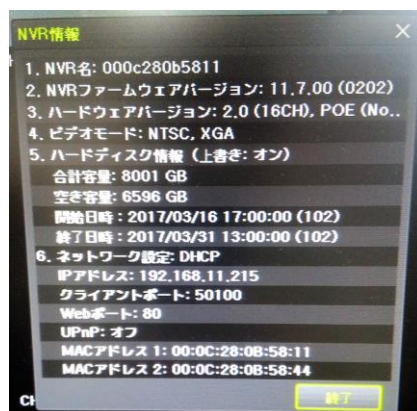
プリセットとは？ PTZカメラで左右/上下/拡大/焦点を設定し特定の映像または指定する映像ポジションにすばやく移動する機能です。



ホームポジション時間とは？ PTZを制御した後、一定時間が経過すると、自動的にPTZのプリセット1番が実行される機能です。プリセット1番がホームポジション機能に代わるものです。

5-4 NVR情報の確認と画面の設定の変更

5-4-1 NVR 情報の確認



[NVR情報]

5-4-2 画面の表示設定

カメラ名オン/オフ、コントロールバーオン/オフ、ボタンのオン/オフ、繰り返し持続時間1～10秒、TV 出力の調整を選択することができます。画面表示の設定を選択すると、1画面表示モードに切り替えると、以下のようなメニューが表示されます。

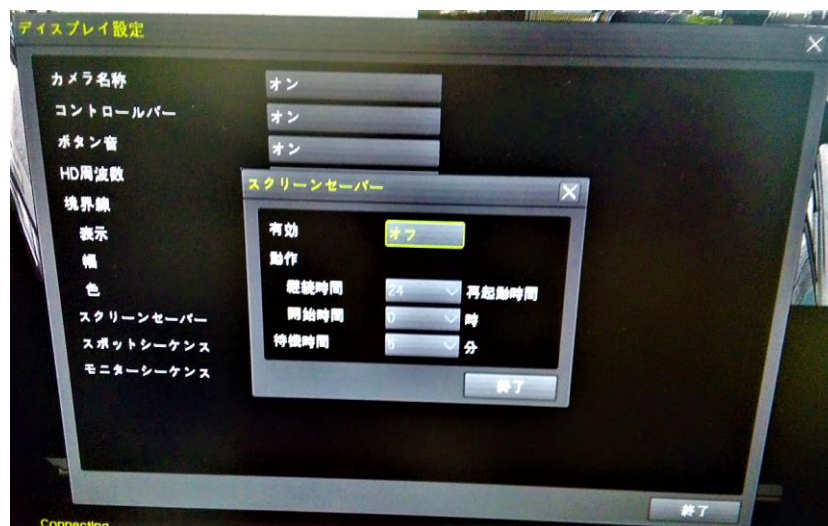


[画面表示の設定1]

5-4-3 スクリーンセーバー

「メニュー」⇒「その他」⇒「ディスプレイ設定」⇒「スクリーンセーバー」

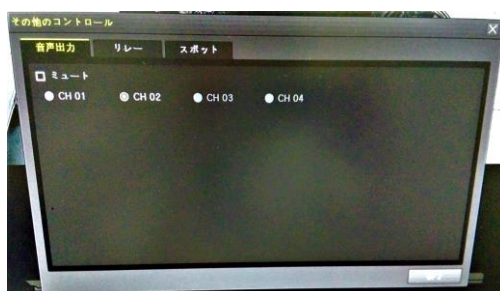
名称	説明
保持時間	スクリーンセーバー期間の設定
開始時間	スクリーンセーバーの起動時間設定(1~24)
待機時間	スクリーンセーバーの待ち時間設定(1~10)



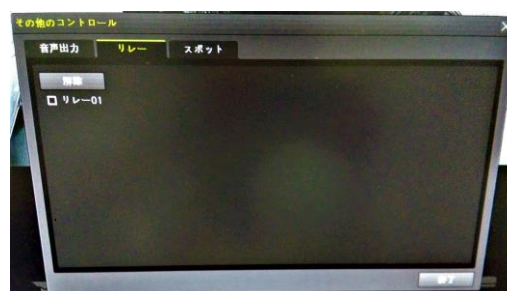
【画面表示の設定2】

5-5 コントロール(音声出力、リレー出力、スポット出力)

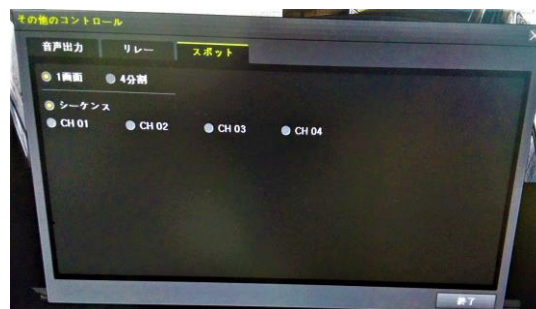
ライブ監視画面で「メニュー」⇒「その他のコントロール」を選択します。



【音声出力】



【リレー】



【スポット】

① 音声出力タブを設定して、ライブモードで出力する音声の選択、ミュートをオンにします。



4入力は音声4入力、8入力は音声8入力、16入力は音声16入力、32入力は音声32入力の接続が可能です。音声入力はモデルによって異なります。

② リレータブをクリックし、リレーを選択します。



リレーの入力数はモデルによって異なります。

③ スポットタブをクリックし、スポットを設定します。



イーサネット POS入力は、日本語はサポートしません。

5-6 検索

5-6-1 検索モードに入る

ライブ監視画面で「メニュー」⇒「検索」を選択します。



【再生メニュー】

5-6-2 再生メニュー

(1) カレンダー検索

目的の[年/月/日/時/分]を指定することができ、[マルチチャンネル/マルチ時間/マルチ日]を選択し、[モーション/センサー]に応じた再生を選択することができます。

(2) Go To The Time

特定の日時の記録を検索し、再生することができます。

(3) 最後のデータの検索

最後のデータの再生モードは、最後に録画した時間帯に移動し、マルチチャンネルモードで再生します。



※最初のデータの検索、最後のデータの検索は、「マルチチャンネル」でのみ使用可能です

(4) 最初のデータの検索

最初のデータの再生モードは、最初に録画した時間帯に移動し、マルチチャンネルモードで再生します。

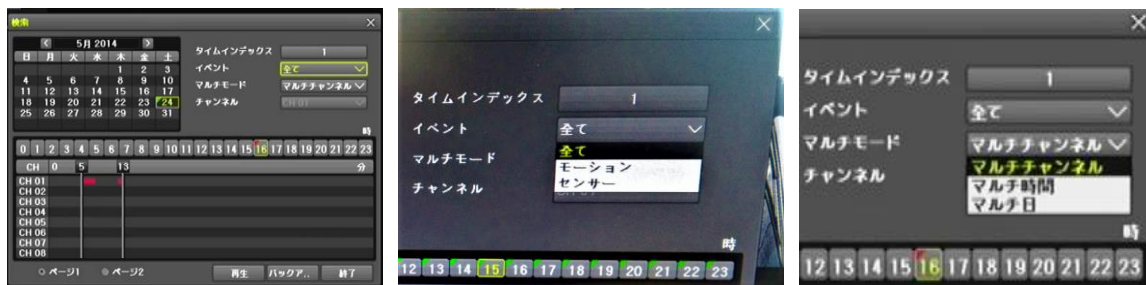
(5) 最後の検索 時間

最後の再生時間への移動は、「マルチチャンネル」でのみ可能です。

5-7 検索(カレンダー)

5-7-1 検索モードに入る

ライブ監視モードで「メニュー」⇒「検索」⇒「検索(カレンダー)」を選択すると、以下のように検索モードに移動します。



[検索]

5-7-2 年/月/日を選択

検索したい[年/月/日]を選択します。カレンダーに表示される日付の左上のアイコンの色は録画状態を意味します。

5-7-3 タイムインデックス

- ① フォルダに記録されたファイルは、「メニュー」⇒「検索(カレンダー)」⇒「タイムインデックス」から確認することができます。
- ② 「メニュー」⇒「検索(カレンダー)」⇒「タイムインデックス」から項目を選択すると、別のフォルダ(時間変更前)に記録された複数のファイルが表示されます。



[タイムインデックスの検索]

	※タイムインデックスを利用した検索では、複数チャンネル検索でのみ可能です
現在	現在のシステムに設定された時間を基準にした録画映像ファイル
以前	システムの時刻が変更される前の録画映像ファイル。

5-7-4 イベント

イベントは、検索するデータをイベント別に検索する機能です。[全て/モーション/センサー]を選択します。

5-7-5 マルチチャンネル検索

特定の時間に対して異なるチャンネルの録画映像を同時に再生する機能です。

- ① カレンダーで検索する年/月を選択してください。
- ② カレンダーの日付を選択すると、各チャンネルの録画された映像が1時間単位の棒グラフで表示されます。



某グラフの色は、ライブ監視モードもイベントモードも同一のものです。

- ③ 方向ボタンまたは数字ボタンを使って時間指定線(タイムライン)を移動し検索時間を指定した後、[選択]ボタンをクリックします。
- ④ 時間を選択すると、各チャンネルの録画された映像が分単位の棒グラフで表示されます。
- ⑤ 方向ボタンと数字ボタンを利用して分単位の指定線(タイムライン)を移動し、選択ボタンを押すと、設定したところから再生されます。

5-7-6 マルチ時間検索

特定のチャンネルに対して、異なる時間帯の録画映像を同時に再生する機能です。

- ① 日付検索はマルチチャンネル検索と同じです。
- ② 日付を選択すると、選択した日付の時間帯別の録画状態が表示されます。
- ③ 方向ボタンを押して開始時間とチャンネルを選択します。
- ④ 選択したチャンネルの時間別画像が分単位の棒グラフで表示されます。
- ⑤ 方向ボタンと数字ボタンを利用して分単位の指定線(タイムライン)を移動し、選択ボタンを押すと、設定したところから再生します。



※異なる時間帯とは、1時間単位の連続した16時間を意味します。

5-7-7 マルチ日検索

特定のチャンネルに対して異なる日付の録画映像を同時に再生する機能です。

- ① 日付検索はマルチチャンネル検索と同じです。
- ② 日付を選択すると、選択した日付から降順に日付リストと時間帯別の録画状態が表示されます。
- ③ 方向ボタンを利用して、開始時間とチャンネルを選択します。
- ④ 選択したチャンネルの映像が分単位の棒グラフで表示されます。
- ⑤ 方向ボタンと数字ボタンを利用して分単位の指定線(タイムライン)を移動し、選択ボタンを押すと、選択したところから再生します。

5-8 再生



[再生画面]

※保存した映像を再生する方法には、下記の5つの方法があります。

- 検索(カレンダー)で再生
「メニュー」⇒「検索」⇒「検索(カレンダー)」⇒「検索」ウィンドウで「再生」ボタンをクリックします。
- 最後の録画データの検索再生
「メニュー」⇒「検索」⇒「最後から(再生)」を選択します。
- 最初の録画データの検索再生
「メニュー」⇒「検索」⇒「最初から(再生)」を選択します。
- 前回の再生した時間時間から再生
「メニュー」⇒「検索」⇒「前回の続きから(再生)」を選択します。
- ログ表示リストから再生。
「メニュー」⇒「その他」⇒「ログ表示」で日付を選択し、リストアップされたタイムラインを選択するか、マウスでダブルクリックすると、再生が始まります。

※ DCTシリーズは、多様な再生方法をサポートします。

- スマート検索 / 検索(カレンダー)
- マルチ時間 / マルチ日 / マルチチャンネル
- 4コマ連続再生(パノラマ再生)
- イベント再生
- ズーム再生

5-8-1 再生と再生速度調整

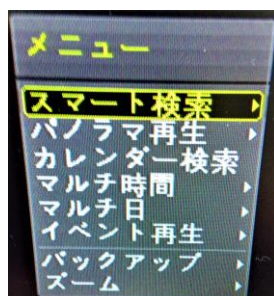
- ① 再生モードで使用するボタンを下記の表で説明しています。ご参照ください。
- ② 該当する時間の最後のデータまで再生すると、次の時間のデータを自動的に検索して再生します。(マルチチャンネル再生でのみ可能です。再生、逆再生の両方が可能です。))
- ③   ボタンを押し続けると(x 1) / (x 2) / (x 4) / (x 8) / (x 16) / (x 32) / (x 300)で再生速度を調整することができます。



[図 5-22. 再生状態およびコントロール]

検索ボタンの説明		
ボタン	名称	機能
	チャンネル モード変更	画面分割表示を切り替えます。
	ズーム モード変更	ズームモードに切り替えます。
	再生 / 早送り	1回クリック- 再生速度 (x 1) 2回クリック- 再生速度(x 2) 3回クリック- 再生速度(x 4) 4回クリック- 再生速度(x 8) 5回クリック- 再生速度(x 16) 6回クリック- 再生速度(x 32) 7回クリック- 再生速度(x 300) もう1回クリックすると (x1)速になります。
	早送り コマ送り	1フレームずつ再生
	一時停止	映像再生、一時停止
	逆コマ送り	1フレームずつ巻き戻し
	逆再生 / 巻き戻し	1回クリック- 逆再生速度 (x 1) 2回クリック- 逆再生速度(x 2) 3回クリック- 逆再生速度(x 4) 4回クリック-逆 再生速度(x 8) 5回クリック- 逆再生速度(x 16) 6回クリック- 逆再生速度(x 32) 7回クリック- 逆再生速度(x 300) もう1回クリックすると (x1)速になります。
	ライブモードへの切り替え	再生モードを解除します。
		ステータスバーに1時間単位の映像保存データ情報と倍速の情報を表示します。

再生モードでは、マウスの右ボタンあるいはメニューボタンを選択すると、下の図のような「再生メニュー」が表示されます。



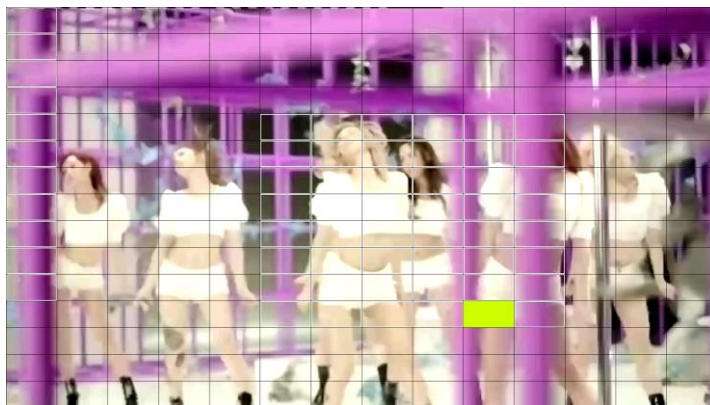
[再生メニュー]

5-8-2 スマート検索

スマート検索は、特定の領域で映像の変化を素早く検索する機能です。チャンネルごとに選択でき、検索のための詳細設定も可能です。

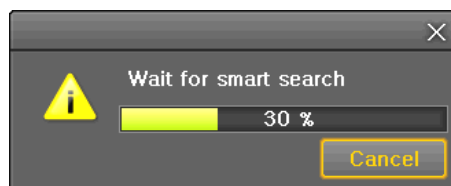
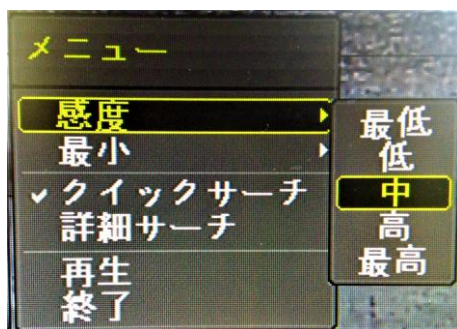
種類	内容
感度	最低/低/中/高/最高の5段階
最小	1- 10までのピクセル数の調整
クイック サーチ	30フレームを1回として検索
詳細 サーチ	全てのフレームを検索

- ① スマート検索を選択し、対象のチャンネルを選択します。
- ② 1チャンネルモードに変更した後、検索領域を選択します。



【スマート検索 領域 設定】

- ③ 14×15ピクセル単位のモザイクが表示されます。マウスでモザイクポインタ(黄色のピクセル)を左クリックし、ドラッグすると領域が設定せれ、マウスの左ボタンを離すと、設定が完了します。同じ方法で他の領域を選択します。
- ④ マウスの右ボタンを押すと、以下のようなメニューが表示されます。メニューの各項目を選択し再生ボタンを押すと、検索が始まります。



【スマート検索 モーション検知】

- ⑤ 検索中には時間がかかります。検索が終了すると、再生を開始します。

5-8-3 検索(カレンダー)

ライブモードから「メニュー」⇒「検索」⇒「検索(カレンダー)」に移動します。

5-8-4 マルチ時間

特定のチャンネルに対して、異なる時間帯の録画映像を同時に再生する機能です。異なる時間帯に録画された映像の並べ替えは、時間軸で降順となります。

5-8-5 マルチ日

特定のチャンネルに対して、異なる日付の録画映像を同時に再生する機能です。異なる日付に録画された映像の並べ替えは、日付軸で降順となります。

5-8-6 マルチチャンネル

特定の時間に対して異なるチャンネルの録画映像を同時に再生する機能です。

5-8-7 4コマ連続再生(パノラマ再生)

4コマ連続再生(パノラマ再生)は、特定のチャンネルの録画映像をフレーム単位で再生する機能です。パノラマ再生は、16フレーム/9フレーム/4フレーム/1フレーム表示で再生されます。



【4コマ連続再生(パノラマ再生)】

5-8-8 イベント

録画データから、特定のイベント[全て/モーション/センサー/音声]を選択して検索、再生する機能です。

5-8-9 バックアップ

USBデバイスに録画データをバックアップする機能です。

バックアップ	保存された映像データを[USBデバイス]にバックアップします。
スナップショット	現在表示している画面をキャプチャーして保存します。

5-8-10 画面モード

再生モードでもライブモードのように画面分割ができます。[1/4/9/16モード]を選択することができます。

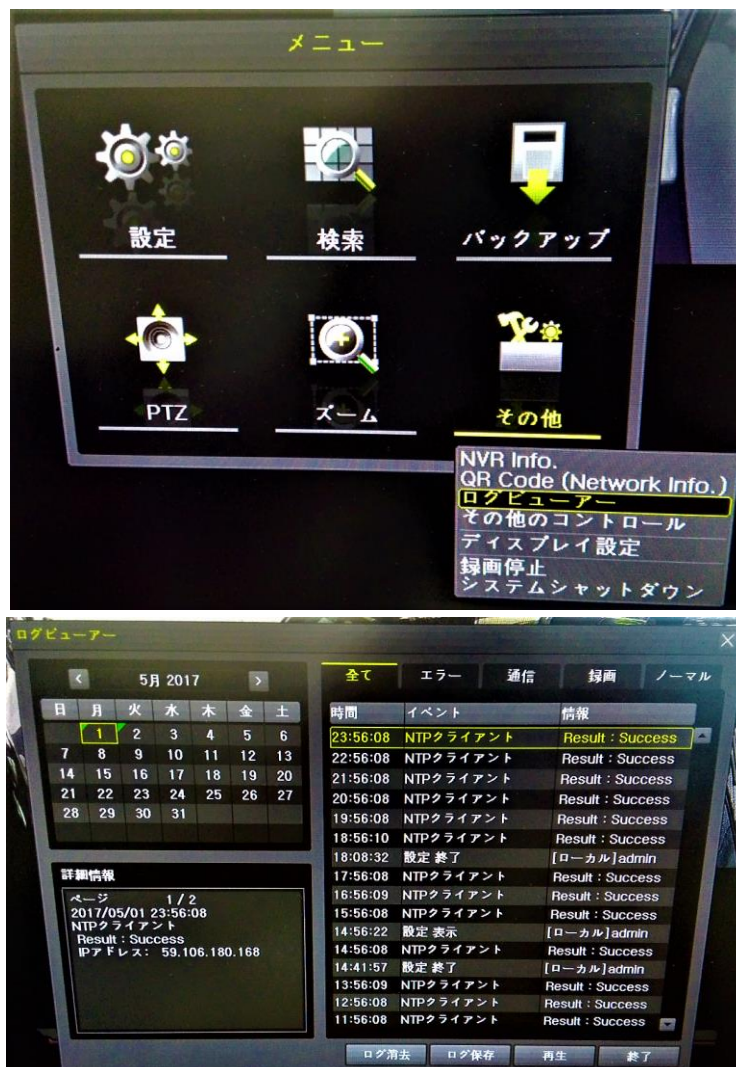
マウスで画面モードを選択するか、フロントボタンの方向表示ボタンを押します。



【画面モード 16チャンネル】

5-9 ログの確認

NVRシステムの電源オン/オフ、システム設定、ネットワーク接続/解除など、システムの全ての操作に関するログ情報を保存します。この情報は「メニュー」⇒「その他」⇒「ログビューアー」で検索することもできます。



[ログ表示]

5-9-1 ログの種類

ノーマル	電源をオン/オフ、ファイルのコピー/バックアップエラー、設定の開始/終了、再生などのシステム基本動作のログです。
録画	モーション検知、センサー検知、音声の検知などの録画に関連するログです。
通信	ネットワーク ログイン/ログアウト、ネットワークライブ監視などにネットワーク関連するログです。
エラー	シグナルロス、ネットワーク接続のエラーなどエラーに関するログです。
全て	システムに関する全てのログです。

5-9-2 システムログ表示

- ① ライブモードで「メニュー」⇒「その他」⇒「ログビューアー」を選択すると、ログリストが表示されます。
- ② カレンダー上で、方向ボタンと選択ボタンで年/月/日を選択します。
- ③ ログ一覧から、方向ボタンを利用し時間とログの種類を確認します。
- ④ 上下ボタンを使用して、ページ単位で時間とログを確認します。
- ⑤ 指定したログフォーカスを選択すると、該当する時間帯の再生が始まります。モードに切り替わります。（再生はログが記録された時間から開始します）
- ⑥ ログリストから特定の時間帯のログを表示したい場合は、マウスの右ボタンをクリックするか、前面パネルの「メニュー」ボタンを選択し、「時間」を選択すると該当する時間のログリストが表示されます。



【ログ表示画面で特定の時間帯のログリストに移動】

	時間を変更した場合のログデータを表示 ユーザーが時間を変更すると、新たにフォルダが自動的に作成されデータが保存されます。時間変更があった場合、カレンダーのウィンドウ上の日付に青色の三角マークが表示されます。変更がない場合は赤色の三角マークが表示されます。赤色で表示された日付を選択すると、ログの詳細情報が表示され、青色で表示された日付を選択すると、変更されたデータリストの選択ウィンドウが表示されます。
---	--

5-10 録画

5-10-1 録画方式

以下の表のように多様な録画方式があります。

録画方式	説明
連続	常時、録画を行います。
モーション	映像に動きがある場合、録画を行います。
センサー	外部センサーからの入力信号が発生したときに、録画を行います。
音声	音声が発知された場合に録画を行います。

5-10-2 録画設定

録画設定は「メニュー」⇒「設定」⇒「録画」メニューで行います。詳細な設定方法は、「メニュー」⇒「設定」⇒「録画」⇒「録画」をご参照ください。

5-10-3 録画状態の確認

(1) 録画状態を色別に整理

※ 録画 イベント / 録画モード 表示 ※		
録画イベント		モーション録画中
		センサー録画中
		音声検知 録画中
録画モード		映像録画中
		音声検知録画中

5-11 バックアップ

バックアップをする前に、USB2.0インタフェースをサポートするUSBメモリ、外付けHDDなどのストレージを接続してください。バックアップは、ライブ監視、検索、ログ、再生モードで行うことができます。

5-11-1 ライブ監視モードのバックアップ

- ① ライブ監視モードで「メニュー」⇒「バックアップ」⇒「バックアップ」を選択すると、バックアップ・ウィンドウのメインメニューが表示されます。
- ② バックアップする開始時間は、バックアップボタンを押した時間から5分前の時間に自動的に設定され、終了時間はバックアップボタンを押した時間に設定されます。
- ③ バックアップするチャンネルは、該当する時間にデータが存在する全てのチャンネルが自動的に選択されます。
- ④ 以降のバックアッププロセスは、[5-11-5バックアップ共通プロセス]をご参照ください。

5-11-2 検索モードでのバックアップ

- ① 「メニュー」⇒「検索」⇒「検索(カレンダー)」を選択します。
- ② マウスで「バックアップ」をクリックするか、前面パネルの方向ボタンで「バックアップ」まで移動し、選択を押します。
- ③ バックアップする開始時間は、検索モードでは、選択した年/月/日/時/分/秒で設定され、終了時間は、選択した時間に存在するデータの最後の分/秒までとなります。
- ④ バックアップするチャンネルは、バックアップする時間にデータが存在する全てのチャンネルが自動的に選択されます。
- ⑤ 以降のバックアッププロセスは、[5-11-5バックアップ共通プロセス]をご参照ください。

5-11-3 ログモードでのバックアップ

- ① 「メニュー」⇒「その他」⇒「ログビューアー」で日付を選択し、バックアップするデータに関連するログを選択します。
- ② マウスの右ボタンをクリックするか、製品の前面パネルの「メニュー」ボタンを押します。
- ③ バックアップする開始時間は、選択したログが発生した時間から5分前の時間に設定され、終了時間は、選択したログが発生した時間に設定されます。
- ④ バックアップするチャンネルは、バックアップする時間にデータが存在する全てのチャンネルが対象になり、特定のチャンネルに対して発生したログであれば、そのチャンネルが選択されます。
- ⑤ 以降のバックアッププロセスは、[5-11-5バックアップ共通プロセス]をご参照ください。

5-11-4 再生モードでのバックアップ

- ① 再生モードでマウスの右ボタンをクリックし「メニュー」⇒「バックアップ」を選択します。再生中の場合、再生が停止します。
 - ② 開始時間は、バックアップボタンを押したときの再生時間の5分前の時間に設定され、終了時間はバックアップボタンを押したときの再生時間に設定されます。
 - ③ バックアップするチャンネルは、バックアップする時間にデータが存在する全てのチャンネルが選択されます。また、現在の分割モードによって表示されているチャンネルが対象となります。
- 以降のバックアッププロセスは、[5-11-5バックアップ共通プロセス]をご参照ください。

5-11-5 バックアップ共通プロセス



[バックアップ]

- ① バックアップウィンドウの初期メニューは、[上図バックアップ]をご参照ください。
- ② 選択可能なデバイスのリストと、現在選択されているデバイスの情報が表示されます。
- ③ 選択ボタンを押しデバイスを選択すると、選択したデバイスの空き容量と合計容量が表示されます。
- ④ デバイスを選択すると、時間、フォルダー名、バックアップするファイルのサイズが表示されます。
- ⑤ フォルダー名は、前の12桁は、開始の年/月/日/時/分秒で、中間の12桁は、終わりの年/月/日/時/分秒です。最後の2桁は選択したデバイス内のフォルダの数に応じて決まります。
- ⑥ デバイスを選択すると、バックアップする時間を選択することができます。開始時刻は終了時刻よりも大きくすることができません。逆に終了時刻を開始時刻よりも小さくすることもできません。
- ⑦ 開始または終了時刻を変更するには、開始または終了時刻を選択し、変更したい日付、時間、分、秒をダブルクリックし、上下ボタンで変更してください。または、フロントボタンで選択ボタンを押し変更後、ESCボタンを押します。
- ⑧ バックアップする時間が変更すると、バックアップするフォルダー名も変更されます。
- ⑨ バックアップする容量がデバイスの空き容量よりも大きい場合は、選択したデバイスでは正常にバックアップができません。新しいデバイスと交換してください。
- ⑩ バックアップボタンを押すと、バックアップを続行するかどうか(はい/いいえ)のメッセージが表示されます。
- ⑪ 「はい」を選択すると、バックアップが始まります。



※「はい」を選択した場合、バックアップが行われ、「いいえ」を選択した場合、バックアップボタンを押す前の状態に戻り、「キャンセル」を選択した場合、バックアップウィンドウの初期状態のデバイスを選択する状態に戻ります。

5-12 設定データ保存

設定データの保存は、メニューに設定されている全ての設定値をバックアップする機能です。バックアップした設定値をそのまま他の機器に設定することができる機能です。



【設定データの保存およびサブメニュー】

- ① 設定値のバックアップを行うためのデバイスを接続してください。
- ② 「メニュー」⇒「バックアップ」⇒「設定データの保存」を選択すると、ウィンドウが表示され、デバイスを選択すると、下記のファイル名で設定値がコピーされます。



【設定データの保存のためのデバイス選択】

下記のファイル名で保存されます。



HD116T_565645348945_80_01_20100303_113237.bin

① ② ③ ④ ⑤

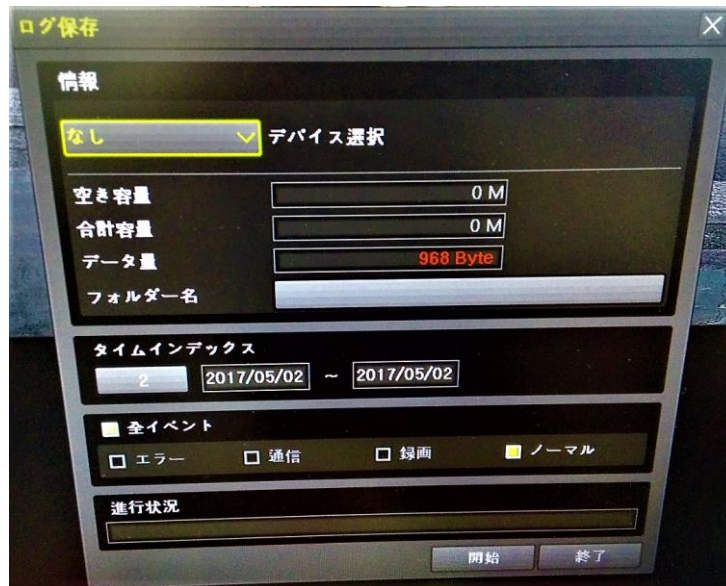
①モデル名 ② NVR名 ③ バージョン ④ 日付 ⑤ 時間

- ③ このデバイスを別の機器に接続し、「メニュー」⇒「設定」⇒「システム」⇒「アップグレード」⇒「設定データ」を選択し、設定値をコピーします。
- ④ この機能を使い、別の機器に設定値を簡単にコピーすることができます。

5-13 ログのバックアップ

ログに保存されたシステム/録画/通信/エラーに関連するデータの内容をバックアップする機能です。

- ① 「メニュー」⇒「バックアップ」⇒「ログ保存」を選択し、デバイス設定後、開始を押します。



【ログの保存】

フォルダの中に、以下のログファイルが作られます。



20100303_20100303_02_LOG

565645348945_20100303.ログ

ログ ファイルはテキストファイルで自由に開くことができます。

5-14 スナップショット

スナップショットは、ライブ監視モード、再生モード、検索モード、ログエントリーモードで停止動画をJPGファイルに変換し、バックアップデバイスにバックアップする機能です。

- ① ライブモードでは「メニュー」⇒「バックアップ」⇒「スナップショット」、再生モードでは「メニュー」⇒「バックアップ」⇒「スナップショット」、ログ項目モードと再生モードでは「メニュー」⇒「バックアップ」⇒「スナップショット」を選択すると、モニターに表示されている画面がそのままバックアップデバイスに保存されます。
- ② バックアップ用USBデバイス(ODDデバイスは除く)が一つ検知された場合、そのデバイスにJPGファイルが保存されます。
バックアップ用USBデバイス(ODDデバイスは除く)がないか、二つ以上の場合にはデバイスを選択するウィンドウが表示されます。

Chapter 6. 設定

6-1 時間

※ 機能説明

1. 時刻同期化

1) NTP サーバーとの同期化

1時間に1回の周期でNTP サーバーと同期する。

A. 自動設定

ユーザーが設定したタイムゾーンを基準に最も近いサーバーから接続を試み、接続ができない場合は、定められた以下のリストに移動して接続を試みます。

B. ユーザーによる設定 ユーザーが直接NTP サーバーのURLまたはIPを設定し、接続が出来ない場合、ユーザーにメッセージで知らせログを残します。NTPサーバーとの同期に失敗した場合は、RTCとの同期を行います。

2. DSTサーバー

日本国内では使用しません。

3. ユーザーによる時間設定

ユーザーが直接時間を設定します。

NTP 設定を行うと、ユーザーによる時間変更はできなくなります。

※時間機能の設定は「メニュー」⇒「設定」⇒「時間」で設定することができます。



【設定 / 時間メニュー】

6-1-1 時刻同期

① 時刻同期/サーバータイプ/サーバーアドレスを選択します。

オフ	タイムサーバーを使用しません。
NTP	NTPを使用してNVRの時間を設定します。



「タイムサーバー」がNTPの場合のみ「NTP」の設定が可能です。サーバーのURLの設定時に、サーバータイプがNVRの時はIPのみを入力することができ、NTPサーバーの場合は、自動、IP、URLの中から選択し指定することができます。

6-1-2 日時

(1) 日時



タイムサーバーが オフの場合のみ変更が可能です。

システムの日時は、年(YEAR)/月(MONTH)/日(DAY)時(HH)/分(MM)/秒(SS)で構成されています。

- ① 方向ボタンを利用しフォーカスを年(YEAR)/月(MONTH)/日(DAY)時(HH)/分(MM)/秒(SS)に移動し選択ボタンを押します。
- ② 方向ボタンで、日付と時刻を変更し、[選択]ボタンを押します。



(2) 日付表示形式タイプ

[日/月/年] / [月/日/年] / [年/月/日]の中から[表示]を選択します。

6-1-3 タイムゾーン

(1) タイムゾーン

- ① 「標準時間帯」を選択します。
- ② 選択画面から設定したい時間帯を選択してください。

(2) サマータイム

- ① 日本国内では使用しません。

6-1-4 自動再起動

周期的に自動でシステムを再起動します。システムの安定化が可能です。



[設定 / 自動再起動メニュー]

6-2 カメラ



[設定 / カメラメニュー]

6-2-1 カメラ

① 接続

各カメラに対する接続状態(オン/オフ)を設定します。



※カメラが接続されている状態でも削除を行うと、映像が表示されなくなります。

② カメラ名

各カメラの名称を設定することができます。(最大10文字、20数字の設定が可能です。)

6-2-2 PTZ

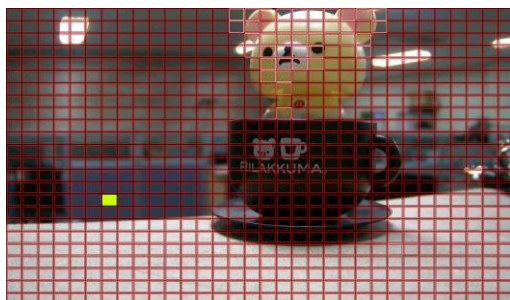
カメラのプロトコルと伝送速度を設定します。

6-2-3 イベント

「メニュー」⇒「設定」⇒「カメラ」⇒「イベント」を選択します。

(1) モーションエリア

映像の中のモーション検知領域を設定する機能です。



[モーションエリア設定]

- ① 各カメラのモーションエリアを選択します。
- ② 1画面表示モードに切り替えると四角のボックスが表示されます。黄色のブロックをマウスでドラッグ、またはフロントボタンで移動しながら、必要な領域を選択すると選択されたブロックが茶色になります。
- ③ 設定後、終了を選択します。

(2) **モーション感度** : 最低/低/中/高/最高を選択してください。

(3) **センサータイプ** : センサータイプを選択します。

6-2-4 リレー

リレーのタイプを選択します。

6-3 IPカメラ

6-3-1 IP カメラ

- ① 右下に表示されている[検索]をクリックします。
- ② カメラ検索リストが表示されますので、検索して抽出されたIPカメラの中から、登録したいIPカメラを選択します。
- ③ IPカメラのポート、ID/PW(パスワード)、プロトコル(ONVIF)を選択し、一番下に表示されている[Register]をクリックして終了します。

※[6-7-2イーサーネット2]で設定したNVR本体のIPのセグメントとカメラのセグメントが一致しない場合はカメラを検索できません。



[カメラ検索 / 検索画面]

6-3-2 IP カメラストリーム

- ① ストリームを変更したいカメラのチャンネルを選択します。
- ② 1st Stream、2nd Stream、3rd Streamともに解像度(Resolution)、ビットレート(Bit Rate)、フレームレート(Frame Rate)の数値を設定し、一番下に表示されている変更(Change)をクリックします。最大4MPの場合は6000bps、15フレーム以下にしてください。



6-3-3 IP 検索プロトコル設定

自動的にプロトコルが設定されます。

6-3-4 IP カメラ情報

「メニュー」⇒「設定」⇒「IP Camera」⇒「Register」⇒接続されているカメラを方向ボタンを使って二回押す⇒「Camera info」を選択しますと、カメラの情報が表示されます。

6-4 録画

メイン設定は録画とシステム環境と主要機能を設定する機能です。ライブ監視画面で「メニュー」⇒「設定」⇒「録画」を選択します。



〔設定 / 録画〕

6-4-1 スケジュール選択（スケジュール1～スケジュール4）

- ① 各チャンネルは、4つの異なるスケジュールで設定することができ、それぞれの時間帯を、異なる4つのスケジュールで設定できる機能です。

6-4-2 イベント

モーション検知/センサー検知を設定(オン/オフ)することができます。

録画モード	説明
モーション	映像に動きがある場合、イベント設定で設定したフレーム数で録画を行います。
センサー	外部センサーからの入力信号が発生した場合、設定したフレーム数で録画します。

6-4-3 録画

(1) 録画解像度

録画するカメラの解像度(例)を設定します。

区分 解像度	カメラの分類		
	1080P	720P	D1
D1	—	—	704 x 480
720P	1280 x 720	1280 x 720	—
1080P	1920 x 1080	—	—

(2) 録画品質 (メインビットレート)

録画映像の画質を設定します。推奨画質(ビットレート)は、4M以下となります。

	※ビットレートの設定が高いほど、録画映像ファイルのサイズも大きくなります。
---	---------------------------------------

(3) フレーム数

メインフレームとサブフレームを設定することができます。メインフレームを録画のための設定になり、サブフレームはモニター上で、ライブモニタリングするための設定になります。ネットワークの不可などを考慮し、設定を調整してください。

メインフレーム	録画のためのフレーム
サブフレーム	ライブモニタリングのためのフレーム

解像度 モデル名	解像度別の最大録画フレーム数		
	1080P	VGA	SIF
16ch	15fps	15fps	15fps
8ch	15fps	15fps	15fps
4ch	15fps	15fps	12～15fps

(4) 音声

音声入力機能のあるネットワークカメラのみ対応します。ただし、機能があってもカメラの種類によっては使えないこともあります。

6-4-4 アラーム

※イベントが発生した場合、ブザー/PTZプリセット/メール/リレー/スポット/モニターポップアップ/コールバック(このモデルでは使用できません)/FTP(このモデルでは使用できません)を行います。PTZプリセットは1～15か所まで設定することができます。



※モニター切換機能は、ライブ監視モードで、イベントが発生した場合、該当するカメラをモニターに表示させイベントの発生を知らせるものです。

6-4-5 保持時間

プリ録画のオン/オフ、ポスト録画(5秒/10秒/15秒/20秒/60秒/150秒/300秒)を設定します。

※プリ録画はイベントが発生した時点から7秒前までの映像を録画します。

6-4-6 ログ

モーション検知/センサー検知のオン/オフを行います。

6-4-7 Push

モーション検知/センサー検知のオン/オフを行います。

6-5 スケジュール (Schedule)

異なる4つの録画モードを設定することができます。それぞれのスケジュール録画モードは、一週間/24時間単位で設定すると、自動的にその設定に応じて録画する機能です。



[スケジュール]

6-5-1 スケジュール設定

スケジュール1、スケジュール2、スケジュール3、スケジュール4のいずれかのスケジュールを選択します。

(1) 選択方法

- ① 方向ボタンで設定する曜日や時間帯に移動して選択します。
- ② 時間(0~23時)、曜日(日~休日)に移動し選択します。列あるいは行の全体を一度に設定することができます。
- ③ マウスを使うとより簡単に設定することができます。

(2) 休日登録

ユーザーが任意の休日を指定し休日毎に別々のスケジュール設定を行います。

- ① 「スケジュール」⇒「休日」を選択します。



※「スケジュール」で休日と曜日の日付が同じ場合は、休日のスケジュール設定が優先されます。
※指定した祝日は緑色のタグで表示されます。

- ② 休日の設定ウィンドウを開き、方向ボタンと選択ボタンで指定の日付に移動し、選択ボタンを押します。
- ③ 祝日を指定し、メニューの下に「保存」を押します。

6-6 ストレージ(ハードディスク)



[ストレージ(ローカル)]



ストレージメニューで変更した設定値を反映させるには、設定後、保存してください。
初期化: 初期設定値で設定保存します。

6-6-1 最大録画日数

録画日数を制限する機能です。設定しない/1日/7日/30日/ユーザー設定(1~99日)の選択が可能です。

6-6-2 HDD の上書き

① ハードディスクの上書き設定(オン/オフ)を選択してください。

オン	ハードディスクに空き容量がない場合は、最も古い録画ファイルから上書きします。
オフ	ハードディスクに空き容量がない場合、録画を停止します。

6-6-3 ローカルストレージの管理

(1) ローカルストレージの管理機能

ローカルストレージとは、システム内部に接続されたハードディスクやUSBで接続されている全てのストレージを意味します。ローカルストレージは、「新規」、「録画」、「バックアップ」に分類・管理されており、それぞれ以下のような機能をサポートします。

① 録画用

録画データをリアルタイムにハードディスクへ保存します。

切り離し	選択したストレージを新規の状態に戻します。このコマンドを実行すると、選択したストレージは、「新規」ストレージマネージャーに移動します。
------	---



※ストレージがFault状態では、上記のコマンドが実行されません。

② バックアップ用

バックアップストレージは、録画用として使用することはできません。保存された録画データをバックアップのみ行うことができます。ここでは「新規」コマンドでのみ実行することができます。



ストレージによっては、保存用またはバックアップ(バックアップ)のどちらか一方の機能のみ反映される場合があります。

③ 新規

初めて認識された全てのストレージは、「新規」で管理され、新規モードで録画用またはバックアップ用のストレージとして設定を行います。

録画用フォーマット	録画用として使用します。
バックアップ用フォーマット	バックアップ用として使用します。



新しく認識されたストレージのうち、必ず1つ以上は、保存用のストレージとして選択する必要があります。保存用のストレージが存在しない場合、録画データの保存ができません。

(2) ローカルストレージ管理構成

	※ストレージの状態
アクティブ	保存またはバックアップ用として接続・保存中
オンライン	保存またはバックアップ用として接続中
オフライン	保存またはバックアップ用として接続されていない

	※ ハードウェアステータス
Healthy	保存またはバックアップ用として接続・使用中
Warning	保存またはバックアップ用として接続されているが1つ以上のエラーが発生した状態
Fault	保存またはバックアップ用として接続されておらず交換が必要な状態



1. Fault状態: ストレージが完全に破損しているため、S/ W的な全ての実行が不可能です。Fault状態は、NVRの故障とは無関係で、ストレージの故障を検知し、その記憶装置に録画を停止した状態を意味します。
2. Warning状態: ストレージに物理的エラーが発生している状態です。ストレージの独自のエラー補正機能とNVRのエラー補正機能で補正可能な状態を意味します。その状態で放置した場合はストレージが完全に破損する可能性が(Fault状態)高いため、すぐに、ストレージのデータをバックアップし、交換を行ってください。
3. 接続中のストレージがWarning状態、または、Fault状態にあるストレージがある場合は、監視画面にシステム点検アラームメッセージが表示されます。

(3) ローカルストレージを追加する時の操作

- ① システム本体に新しいハードディスクを設置します。(データケーブルと電源ケーブルを接続します。)
- ② システムに電源を接続し起動します。
- ③ 方向ボタンと選択ボタンで、「メニュー」⇒「設定」⇒「ストレージ」を選択します。
- ④ 「新規」には、新しく設置したハードディスクが表示されます。
- ⑤ 方向ボタンと選択ボタンで、新しく設置したハードディスクを選択し、「録画」または「バックアップ」としてフォーマットします。ここでは、録画用ハードディスクを基準に説明します。
- ⑥ 「録画」では、オンライン状態の新しいハードディスクを確認することができます。



※「録画用フォーマット」または「バックアップ用フォーマット」を設定すると、デバイスの全てのデータが失われます。十分にご注意ください。 ※「録画用フォーマット」または「バックアップ用フォーマット」を設定した状態で、デバイスを削除しないでください。デバイスを認識しなくなることがあります。 ※外付けストレージ、ポータブルストレージをシステムのアップグレード用には、「メイン設定」⇒「ストレージ」⇒「ローカル保存デバイス管理」の「新規」で「バックアップ用フォーマット」を行う必要があります。

※バックアップのためのUSB装置をNVRで初めて使用する場合は、必ず「バックアップフォーマット」で設定する必要があります。一度、設定しておくと再度「バックアップ」リストで認識します。

(4) 故障したHDDの交換方法

- ① 故障したHDD番号をチェックする。
- ② 機器の電源を切る。
- ③ NVRの上部ケースを取り外す。
- ④ 故障したHDD番号を確認する。
- ⑤ 故障したHDDを新しいHDDに交換する。
- ⑥ NVRの上部ケースを取り付ける。

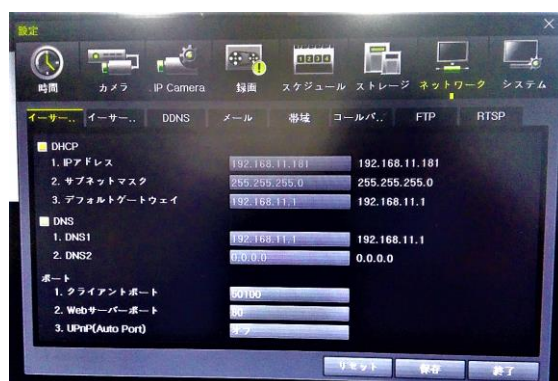
(5) 録画用HDDのフォーマット方法

まず「新規」でハードディスクを選択し、「録画用フォーマット」の順に進めます。

6-7 ネットワーク

6-7-1 イーサネット1(クライアントポート)

- ① 「メニュー」⇒「設定」⇒「ネットワーク」でイーサネット1を選択します。
- ② IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS1、DNS2、クライアントポート、ウェブサーバーポート、UPnP(自動転送ポート)を設定して保存します。
- ③ クライアントポートは、デフォルト値として50100に設定されています。ファイアウォールなどのネットワーク環境に合わせ、任意の値を設定することができます。
- ④ ウェブサーバーポートは、NVRモニタリングに接続するときに使用するポートです。デフォルト値として80に設定されています。(クライアントポートは50100、ウェブサーバーポートは80の値で設定することをお勧めします。)
- ⑤ 「UPnP(自動ポート転送)」をオンに設定すると、ルータで転送を行う必要はありません。ルータがポート転送機能をサポートしていない場合、ルータメニューに接続してからクライアントポート及びウェブサーバーポートで転送する必要があります。



〔設定 ネットワークポート①〕

6-7-2 イーサーネット2 (IP カメラポート)

- ① 「メニュー」⇒「設定」⇒「ネットワーク」⇒「イーサーネット2」を選択します。
- ② IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定して保存します。
※ただし、LAN上に存在するIPとの重複は避けて下さい。
- ③ アドレスの設定値を参考にし、ネットワークカメラのIPアドレスを設定して下さい。



〔設定 ネットワークポート②〕

6-7-3 DDNS

DDNS (Dynamic Domain Name System) サービスとは、動的IPの環境でもURL接続ができるようにするものです。インターネット経由で接続し、遠隔地の映像を監視することができます。

- ① 方向ボタンと選択ボタンで、DDNS機能を使用するかどうか、使用するドメイン名を選択します。
- ② DDNS オンを選択した場合、使用するホスト名を入力し、保存します。入力されたホスト名の登録手続きは自動的に行われます。ホスト名は、4文字以上、最大20文字まで可能です。
- ③ 入力したホスト名がDDNSサーバに既に登録されている場合、別の登録されていないホスト名を再入力します。
- ④ デフォルトのホスト名は、NVRのMacアドレスが使用されています。
- ⑤ 入力したホスト名に「000c28」で始まる名前を使用する場合は、そのNVRのMacアドレスでなければ使用できません。
- ⑥ DynDNS オンを選択した場合、DynDNSに登録したホスト名、サーバーで設定したユーザー名とパスワードを入力し保存します。



※DynDDNSサーバー (<http://www.dyndns.org>) に接続し、ユーザーアカウントを申込み、使用するドメイン名を登録した後、URLを入力します。
※詳しいドメイン登録方法は、サイトにアクセスしてご確認ください。

6-7-4 メール

- ① 「メニュー」⇒「設定」⇒「ネットワーク」⇒「メール」を選択します。
- ② イベント発生時に、メール送信する機能を設定します。
「メニュー」⇒「設定」⇒「システム」⇒「機器異常警告」で「メール」を設定します。この機能を使用するには、
「メニュー」⇒「設定」⇒「ネットワーク」⇒「アドレス」でDNS1またはDNS2の設定が必要です。
- ③ SMTPサーバーでデフォルトを選択すると、dvr@cctvuser.comに設定されます。ただし、日本国内ではSMTPポート25の使用が制限されている場合があるので、正常に使用できない場合があります。できるだけユーザー設定を使いSMTPサーバーを任意で設定してください。Gメールなどのフリーメールを使用する場合は、該当するサイトからアカウントを設定してください。

受信用メールは5つまで設定できます。メール送信周期の設定は[5秒/1分/3分/5分/10分]の値で設定することができます。



【設定 ネットワーク メール①】



【設定 ネットワーク メール②】

6-7-5 帯域

「メニュー」⇒「設定」⇒「ネットワーク」⇒「帯域」を選択します。ネットワークを利用しライブ映像を伝送する場合の映像の解像度/画質などを調整し、帯域幅を制限します。

画像サイズ	CIF / 2CIF / D1 / 960H / 720P / 1080P
画質	映像の画質を調節し、数値が高いほどデータが重くなります。逆に画質が低いほどネットワークの伝送速度は速くなります。
帯域制限	設定できる帯域幅は128～8000kbpsとなります。 設定値が大きいくほどネットワークの速度は速くなります。 帯域幅の制限を行わない場合は、制限なしにします。
送信コーデック	JPEG / H.264
IPカメラストリームバイパス	フィルタリングせずにIPカメラの流れをネットワークに伝達します。

6-7-6 コールバック

イベント発生時に詳細がPCに送信されます。

- ① 「メニュー」⇒「設定」⇒「ネットワーク」⇒「コールバック」を選択します。
- ② コールバックサービスを有効にするためにチェックマークを入れます。
- ③ サーバーIPアドレス、ポート、ユーザーID等の詳細を入力し、User Router IPをオンにします。

※コールバックを使用するには、使用するために必要なソフトウェアをインストールする必要があります。PCソフトウェアを使用する場合には、製造業者にお問い合わせ下さい。

6-7-7 FTP

イベント発生時にFTPにJPEGイメージが送信されます。

- ① 「メニュー」⇒「設定」⇒「ネットワーク」⇒「FTP」を選択します。
- ② FTP1または、FTP2を選択し、FTP Server Enableにチェックを入れます。

サーバーIPアドレス	FTP IPアドレス
ポート	FTP ポート
ユーザーID	FTP ID
ユーザーパスワード	FTP パスワード
FTPディレクトリ	JPEGを保存する場所
テスト	FTPサーバーの動作確認

FTP設定後、「メニュー」⇒「設定」⇒「録画」⇒「アラーム」を選択し、FTPを実行します。
その後、FTPディレクトリにてJPEGイメージファイルを受け取ることができます。

6-7-8 RTSP



RTSP Service Enableを有効にするために、チェックマークを入れます。
下記にある例の図を参照してください。このRTSPアドレスにより、カメラを見ることができます。

ex) rtsp://192.168.11.181:8554/live_01
rtsp://192.168.11.181:8555/live_17

6-8 システム設定



[システム設定]

1. NVR名	NVR名の設定
2. システムコントローラID	システムコントローラの固有の番号を設定する
3. ユーザー設定	ユーザー設定の変更、追加、削除
4. アップグレード	システムファームウェアのアップグレード/システム設定
5. 工場出荷時設定	初期値に設定 (工場出荷時の初期値に設定、ネットワークの設定を除く)
6. アラーム動作	アラームの通知方法、動作内容を設定します。
7. アラーム保持期間	アラームの持続時間を設定します。 ラッチ/5秒/10秒/15秒/カスタム設定(5-60)と設定が可能です。
8. 自動ログアウト	自動的にログアウトに切り替わる時間を設定します。
9. 言語	システムの言語を設定します。
10. ビデオロス検知時間	ビデオロスの検知する周期時間を設定します。
11. Dual BNC Output	HD、SDの解像度を選択します。

6-8-1 NVR 名

- 初期値は、Macアドレスが使用されます。(システム名は最大20文字まで入力可能です。)

6-8-2 ユーザー設定

※システムを運用するユーザー設定の変更/追加/削除することができ、以下のようなアクセス権を設定することができます。ユーザー別の権限やパスワードの変更が可能です。パスワードは、数字の5桁まで可能です。

システムのアクセス許可	
ネットワークライブ表示	ネットワークライブ接続
再生	再生
バックアップ	バックアップ
PTZ	PTZ制御
設定	設定
リモートアップグレード	リモートアップグレード
カメラ表示	カメラ表示



ユーザーは、15人まで登録が可能で、ユーザーIDとパスワードは英文30文字まで入力可能です。

6-8-3 アップグレード

USB2.0に対応した外付けストレージ、ポータブルストレージなどでの機器でファームウェアおよびメニューの設定をアップグレードすることができます。

※製品の特性に合わせアップグレードファイルを用意し、USB2.0に対応した外付けストレージ、ポータブルストレージなど使用するデバイスの最上位のフォルダにコピーします。

※アップグレードファイルが保存されたストレージをフロントパネルにあるUSB接続端子に接続します。



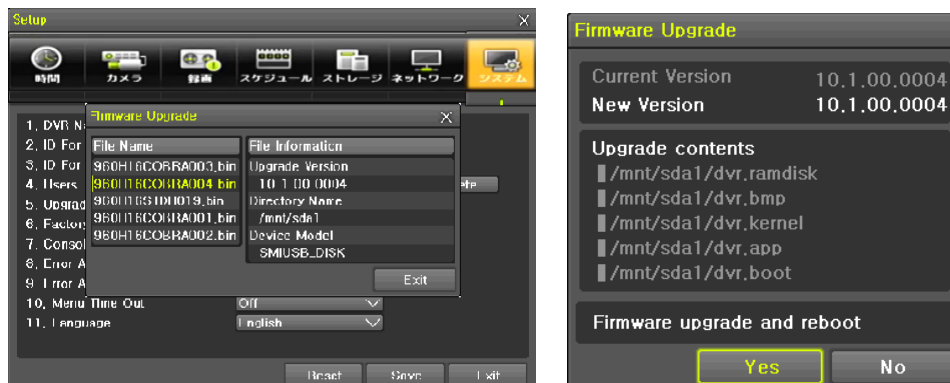
アップグレードファイルが完全にコピーされていない状態でUSBデバイスを削除すると、NVRで自動認識できない場合があります。



アップグレードの過程でUSBを取り外すと、システムが損傷することがあります。アップグレードが完了すると、システムが自動的に再起動されます。

(1) ファームウェアのアップグレード

- ①「ファームウェア」を選択すると、アップグレードファイルのリストと、選択したファイルの簡単なバージョン情報が表示され、もう一度クリックするとアップグレードを開始するかどうかのウィンドウが表示されます。



[ファームウェア アップグレード]



※現在使用中のバージョンより低いバージョンにダウングレードすることはできません。
※数秒から15秒後にアップグレードに関する情報ウィンドウが表示されます。

- ② アップグレード情報の内容を確認した後、「はい」を選択すると、アップグレードを開始します。「いいえ」を選択すると、「システム」モードに戻ります。
- ③ 更新ファイルでアップデートが完了すると、システムが自動的に再起動されます。
- ④ 「メニュー」⇒「その他」⇒「NVR情報」⇒「ファームウェアのバージョン」を確認してください。

(2) 設定データのアップグレード

- ① 「設定データ」を選択すると、アップグレードファイルのリストと、選択したファイルの簡単なバージョン情報が表示されます。
- ② ファイル名を選択すると、アップグレードが開始されます。

 Caution	名前を選択すると、アップグレードが開始されます。この時、メニューで設定した全ての設定値がアップグレードファイルに変更されます。
--	---

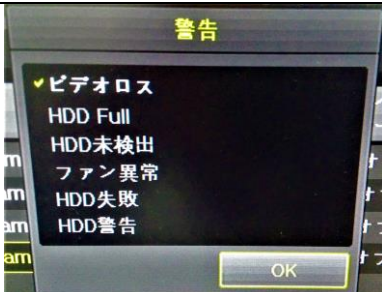
6-8-4 工場出荷時設定(初期化)

- ① 「メニュー」⇒「設定」⇒「システム」⇒「5. 工場出荷時設定(初期化)」を選択します。
- ② 初期化するかどうか(はい/いいえ))を選択するウィンドウが表示され、次に「はい」を選択します。

 Caution	全ての設定が初期化されるのでご注意ください。 ※工場出荷状態の初期値に設定されます。
--	---

6-8-5 アラーム動作

機器の異常を警告する機能として、システムのイベント[ビデオロス/HDDフル/HDD未検出/ファン不良/ストレージ不良/ストレージの警告]が発生した場合は、[ブザー/メール/リレー01/システム点検]に通報する機能です。
[設定しない/ブザー/メール/リレー01/ポップアップ表示/Push]から選択、また、全て選択することができます。

		※ポップアップ 次の図のようなシステム点検ウィンドウを監視画面に表示する機能です。[ビデオロス/HDDフル/HDD未検出/ファン異常/録画失敗/HDD警告]などが表示されます。
---	---	--

6-8-6 アラーム保持時間

- ① 録画とシステムイベントによって発生したアラーム出力を維持する時間を設定する機能です。
- ② 「メニュー」⇒「設定」⇒「システム」⇒「機器異常警告持続時間」を選択します。
- ③ 選択ウィンドウが表示され、方向ボタンと選択ボタンを使用してアラーム出力の時間を設定します。

6-8-7 自動ログアウト

システム設定メニューで、一定時間の間、フロントパネルのボタン、マウスなどからの入力がない場合、自動的にライブ監視モードに切り替わり、ログアウトする時間を設定する機能です。

- ① 「メニュー」⇒「設定」⇒「システム」⇒「自動ログアウト」を選択します。
- ② 選択画面で、方向ボタンと選択ボタンを利用して、設定時間を選択します。

オフ	自動ログアウト機能を使用しません。
1/2/3 分	設定メニューの状態、フロントパネルのボタン、マウスなどからの入力がない場合は、一定時間経過するとライブ監視モードに切り替わり、ログアウトします。
ユーザー設定	直接時間入力が可能です。 ※時間は1～60分まで設定できます。

- ③ ユーザー設定を選択した場合、時間入力画面が表示されます。
- ③ 方向ボタンと選択ボタンまたは数字ボタンを使用して、時間を入力します。

6-8-8 言語

メニューの言語を変えるための機能です。全部で18言語あり、その中から選択が可能です。

6-8-9 ビデオロス検知時間

カメラが接続されていないときのビデオロスの時間を設定します。

6-8-10 デュアル BNC 出力

スポットの種類を選択することが可能です。BNCをスポットと使用する種類として3種類のタイプがあり、[HD スポット+SD スポット]、[HD スポット+SD メイン]、[HD メイン+SD スポット]があります。

クイックマニュアル

クイックマニュアル

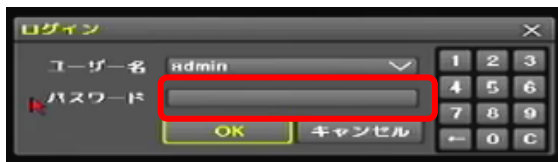
ログイン・システム終了・検索・再生・バックアップ

ログイン

画面上で右クリックし、メニューから「**ログイン**」を選択します。



パスワードは「00000」です。

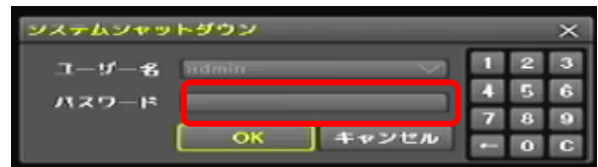


システム終了

画面上で右クリックし、メニューからその他の「**シャットダウン**」を選択します。

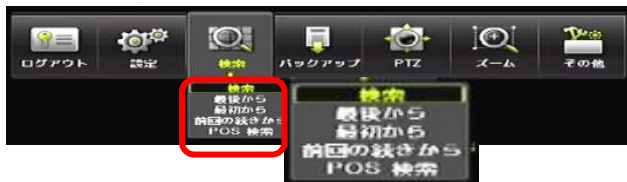


パスワードは「00000」です。



カレンダー検索

画面上で右クリックし、メニューから「**検索**」をします。

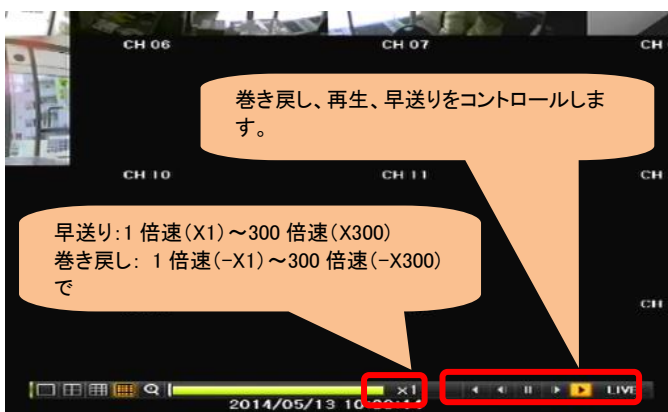


月・日・時間を選択し、「**再生**」を押します。



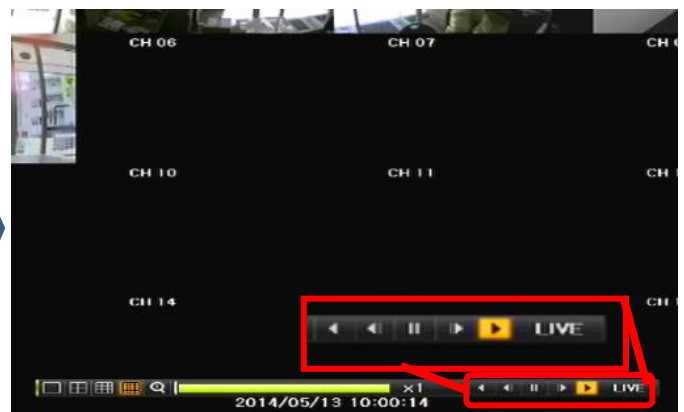
再生のコントロール

動画の再生、巻き戻し、早送りを操作します。



再生画面の終了

右下の「**LIVE**」を押し再生モードを終了します。



映像のバックアップ

画面上で右クリックし、メニューから「**バックアップ**」をします。



カメラと日付と時間を選択します。



USB メモリーの設置

前面パネルの USB ポートに USB メモリーを挿入します。



デバイスを選択し、USB メモリーを認識します。



バックアップ画面の終了

バックアップ完了後、「**終了**」を押します。



User's Guide

